

# 単位互換講座を受講するにあたって

単位互換講座は、神戸研究学園都市大学交流推進協議会に加盟している神戸芸術工科大学、神戸市外国語大学、兵庫県立大学神戸商科キャンパス、流通科学大学、神戸市立工業高等専門学校、神戸市看護大学が、「単位互換に関する協定」に基づいて他大学の提供する科目も受講でき、取得した単位を自分の大学の正規単位として認定できるようにしたものです。

単位互換講座の受講・認定については、大学により異なりますので、事前に自分の大学の教務関係の窓口で確認した上で手続きを行ってください。

単位互換講座には、「特別科目」と「学内提供科目」の2種類があり履修や試験等の規則が異なりますので注意してください。

単位互換講座は、専門に関する分野や異なった分野の授業を受講することで、自分の専門分野に厚みと幅を加えることができます。さらに、他大学の先生の授業を受けたり、他大学の学生と机を並べて勉強することにより、新たな刺激を受けられるなど学生生活を充実したものにすることができます。ぜひ積極的にチャレンジしてください。

また、特別科目の一部は、神戸市内、近隣にある公・私立20高等学校の高校生に、進路選択及び教養・知識の向上を目的に、「ユニティ高大連携講座」として開講し、高い評価を得ています。本年度は特別科目28科目のうち18科目をユニティ高大連携講座として提供します。

## 特別科目

---

UNITYの教室で開講される科目です。

開講期間（試験日を含む）は、所属大学のものとは異なりますので、注意してください。

- ・前期 4/11(月)～8/4(木)

上記の日程で講義（15回＋試験）と補講日が確保できない曜日は、担当教員が他の曜日で授業を設定する。

- ・後期 9/26(月)～12/19(月)、1/5(木)～2/8(水)

上記の日程で講義（15回＋試験）と補講日が確保できない曜日は、担当教員が他の曜日で授業を設定する。

## 学内提供科目

---

科目開設大学のキャンパスで履修する科目です。

他大学のキャンパスに行くことによって、新しい発見や幅広い友人関係ができます。ぜひ他大学のキャンパスも体験してみてください。開講期間や時間、休講基準、試験の実施方法等は科目開設大学の規定に基づきます。受講生は、必要な規則の説明書を科目開設大学より受け取り、よく読んでおいてください。

※開講期間、曜日及び時間は3月末に配布する「時間割」をご覧ください。

# 出願手続き

## 1. 申込者の資格

---

①神戸芸術工科大学、神戸市外国語大学、兵庫県立大学神戸商科キャンパス、流通科学大学、神戸市立工業高等専門学校、神戸市看護大学、兵庫県立大学明石看護キャンパスの学生で、自分の大学の許可があれば誰でも受講資格があります。

ただし、科目によって既履修科目や対象学年等の条件がありますので、「科目概要（シラバス）」で確認をしてください。

②大学によって、単位認定が可能な科目や単位数等が異なります。詳細については自分の大学の教務関係窓口やガイダンス等で確認をしてください。

③社会人で受講を希望される方も、科目開設大学の科目等履修生として受講できるものがあります。募集期日や手続き等については、各科目開設大学へお問い合わせください。

## 2. 出願の方法

---

①自分の大学の教務関係窓口で、前期科目・後期科目とも4月初め自分の大学で定められた期間内に自分の大学の指示に従って手続きをしてください。なお、後期科目で定員に余裕のあるものについては、7月頃に再募集をします。再募集する科目については自分の大学で確認をしてください。

②必要な提出書類は「学園都市単位互換講座科目履修出願票」です。記入例を参考にして、1科目につき1枚記入をしてください。2科目以上出願する方は、用紙をコピーして使用してください。

③学生の受講料は無料です。

社会人の受講の場合は、受講料等が必要です。各科目開設大学へお問い合わせください。

## 3. 履修許可及び履修手続きについて

---

①科目開設大学が「学園都市単位互換講座科目履修出願票」に基づいて選考を行います。

②選考の結果は、4月15（金）に自分の大学から通知されますので、確認をしてください。また、後期科目の再募集選考結果は、9月29日（木）に通知されます。

③前期については、履修許可の確定が前期授業開講後になりますので注意してください。

④科目によっては科目開設大学での手続きが必要な場合があります。その場合は、科目開設大学の指示に従って手続きをしてください。

## 4. 学籍等の取扱い

---

①履修を許可された学生は、科目開設大学の「特別聴講学生」または「科目等履修生」となります。

②講義を受ける際の注意や試験の実施方法等は、科目開設大学の指示に従ってください。

③単位の認定や成績は、自分の大学を通じて連絡されます。

# 出願票記入例

## ユニティ単位互換講座 科目受講出願票

※ No. / 枚中

↑ 記入しないこと

所属大学・学部等		学籍番号	B 67543	
ユニティ 大学 学科 2 年		フリガナ	ガクエン トシオ	
		氏名	学園 とし男	
生年月日	1995 年 10 月 7 日		性別	<input checked="" type="radio"/> 男・女
科目開設大学	流通科学 大学		科目区分	( ) 特別科目 (○) 学内提供科目
出願科目	都市・地域計画		※結果	可・否

【注意】 1 科目 1 枚で記入してください。2 科目以上受講する方はコピーしてください。

↑ 記入しないこと

## 受講志望書

受講の動機や特に学習したい内容について記入すること

我々は何も意識することなく都市・地域で生活・活動を行っていますが、そこにルールとして「都市計画法」が存在したことに興味を持ちました。都市・地域が抱えている問題や自分個人として都市・地域について抱く問題点をこの講義を受けることで少しずつ理解を深めて自分なりに次世代の都市・地域の計画及び、問題点の解決を深めていきたいです。また、将来は県庁もしくは市役所で地元のために働きたいと考えており、将来の職業のための知識面として活用したいと考えております。

都市・地域計画を学習するにあたり、阪神淡路大震災や東日本大震災、また近い将来起こるといわれている南海トラフ地震を見つめた「災害に強いまちづくり」について詳しく学習したいと考えております。また「高齢化社会とバリアフリー」や「安全・安心なまちづくり」など、市民社会の一員としてこれから考えていかなければならない問題へのアプローチもしたいと思います。

# 特別科目

## 履修上の注意

### 1. 休講について

次の場合は休講となります。

- ① 14時現在、神戸市営地下鉄西神・山手線が運休している場合
- ② 14時現在、神戸市に暴風警報または大雪警報が発令された場合
- ③ 14時現在、神戸市に特別警報が発令された場合

(ただし、天候事情等により通学が不可能もしくは危険なために欠席した場合は、欠席届を学生から講義担当教員に提出)

※各大学及び UNITY の掲示板、ホームページで受講生に通知します。(http://www.unity-kobe.jp/)

2. 受講希望者が極端に少ない場合は開講しないことがあります。

3. 使用教科書等については、シラバス及び講義内での教員の指示に従ってください。

## 試験について

1. 試験日及び試験時間については、講義担当教員が講義内で説明します。

2. 受験資格や遅刻の取扱い等については、科目開設大学の規則に基づくこととし、講義担当教員が講義内で説明します。

3. 追試験は、原則として実施しませんので必ず指定された日時に受験してください。

4. レポートの提出については、「レポート提出票」を付けて締切期日までに UNITY 事務室に提出してください。「レポート提出票」は UNITY 事務室にあります。



## 特別科目時間割

(注1) 16:30～19:45の講義については、途中15分間の休憩が入ります。

(注2) ☆印は週2回の授業です。

(注3) ※印は高大連携講座です。

(注4) 教室は、UNITYの案内板を見てください。

曜日	期間	科目名	単位数	担 当 大 学	担当教員	時間	掲載 頁
月	前	国際地域研究Ⅰ※	2	県立大	野津 隆志 教授	16:30～18:00	16
		ヨーロッパ地域論Ⅰ※	2	外 大	中沢（並河）葉子 教授	17:50～19:20	8
	後	組織の経済学☆※	4	県立大	清水 隆則 准教授	16:30～18:00	18
		ヨーロッパ地域論Ⅱ※	2	外 大	中沢（並河）葉子 教授	17:50～19:20	12
		臨床心理学	2	流科大	岩崎 久志 教授	17:50～19:20	21
火	前	工芸史※	2	芸工大	市野 元和 教授 友定 聖雄 教授 岩田 広己 准教授	16:30～18:00	6
		リスク・マネジメント	4	県立大	田中 隆 准教授	16:30～19:45	17
		地域・都市集客論	2	流科大	小久保 恵三 教授	18:15～19:45	20
		地域学※	2	高 専	八百 俊介 教授	18:15～19:45	25
	後	西洋史※	2	外 大	指 昭博 教授	17:50～19:20	11
		情報メディア論※	4	県立大	古隅 弘樹 准教授	16:30～19:45	19
		英文ニュースで学ぶ経済問題※	2	流科大	トーマス・シャーロー 教授	18:15～19:45	22
		証券論※	2	流科大	福田 司文 教授	18:15～19:45	23
		応用倫理学※	2	高 専	手代木 陽 教授	18:15～19:45	26
		社会学※	2	看護大	榎田 美雄 准教授	18:15～19:45	30
水	前	女性と女性の健康※	1	看護大	高田 昌代 教授*②	18:20～19:50	29
		医療通訳・コーディネーター入門	2	外 大	船山 仲他代表*①	18:15～19:45	13
	後	ヒューマニズム思想史	2	看護大	松葉 祥一 教授	18:15～19:45	31
		障害学	1	看護大	榎田 美雄 准教授	18:15～19:45	32
		技術史※	2	高 専	中辻 武 名誉教授	16:30～18:00	27
木	前	国際取引法Ⅰ※	2	外 大	植田 淳 教授	17:50～19:20	9
		臨床心理学入門Ⅰ※	2	外 大	金沢 晃 准教授	17:50～19:20	10
		現代思想文化論	2	高 専	手代木 陽 教授	18:15～19:45	28
		資料講読	2	芸工大	川中 利満 教授	16:30～18:00	7
	後	国際取引法Ⅱ※	2	外 大	植田 淳 教授	17:50～19:20	14
		臨床心理学入門Ⅱ※	2	外 大	金沢 晃 准教授	17:50～19:20	15
		組織の経済学☆※	4	県立大	清水 隆則 准教授	16:30～18:00	18
		金融機関論※	2	流科大	森澤 龍也 准教授	18:15～19:45	24

\*①中村安秀（大阪大学）、村松紀子（医療通訳研究会（MEDINT））、山下正（神戸市看護大学）、益加代子（愛知県立大学）、前村奈央佳（神戸市外国語大学）、嶋澤恭子（神戸市看護大学）、新垣智子（りんくう総合医療センター）、植本雅治（神戸市看護大学）、川越栄子（神戸女学院大学）、松岡綾子（医療通訳者）、岡本悠馬（中国語医療通訳者・鍼灸師）、福島教隆（神戸市外国語大学）

\*②嶋澤准教授、藤井准教授、奥山助教、有本助教、宮下助教、平田助教

# 工芸史

Introduction to Craft and its History

2 単位

大 学 名	神戸芸術工科大学	担 当 教 員 氏 名	市野 元和 教授 友定 聖雄 教授 岩田 広己 准教授
開 講 期 間	前期 (4/11 ~ 8/4)	開 講 曜 日・時 間	火曜日 16:30 ~ 18:00
対 象 学 年	2 年次以上	募 集 人 員	10 名程度

科 目 内 容	本講義では日本の工芸品をはじめ、アジア、西洋の工芸品が様々な時代にどのように変遷を遂げ現在に至ったかを顧み、工芸の専門的文献資料の分析と考察を通じて技術、技法の解説をする事により、今後の制作に必要な知識と応用を学びます。		
	各回内容		
	1	全担当教員によるイントロダクション	
	2	技法からみる陶磁器史の概説 (市野)	
	3	技法からみるガラス史の概説 (友定)	
	4	技法からみる金工史の概説 (岩田)	
	5	ジュエリーから見る各様式と芸術運動 (岩田)	
	6	金工とジュエリー表現の変遷 (岩田)	
	7	ガラスの歴史—I (友定)	
	8	ガラスの歴史—II (友定)	
	9	空間とガラスワーク (友定)	
	10	桃山の茶陶—歪みの美について— (市野)	
	11	日本陶芸の歴史 (市野)	
	12	日本、英国における生活のなかの陶芸「民芸」(市野)	
	13	陶芸作品の説明と解説 (市野)	
	14	金工作品の説明と解説 (岩田)	
15	陶磁器、ガラス、金工に関する歴史的名品の見学、調査、レポートによる報告 (市野) (友定) (岩田)		

評 価 方 法：毎回の各分野別によるレポート提出と授業の取り組み姿勢を総合評価する。

教 科 書：講義内で適宜印刷物を配布します。

参 考 図 書：博物館、美術館での工芸史に残る名品をできるだけ見に行くよう努めること。

履 修 に あ た っ て：毎回の授業に出席すること。特に初回は授業概要を説明するので必ず出席すること。講義中は私語を慎み他の受講生の迷惑にならないようにすること。

# 資料講読 *Reading of Manga*

2 単位

大 学 名	神戸芸術工科大学	担 当 教 員 氏 名	川中利満 教授
開 講 期 間	後期 (9/26 ~ 12/19・1/5 ~ 2/8)	開 講 曜 日 ・ 時 間	木曜日 16:30 ~ 18:00
対 象 学 年	2 年次以上	募 集 人 員	10 名程度

科 目 内 容	授業目的・方針 手塚治虫に始まる現代日本のまんが・アニメの歴史を俯瞰する視点を学び、理解を深める。表現が社会状況と不可分の関係であることを知り、作品の成立背景やその与えた影響を考える。 到達目標 講義を通じてまんが・アニメなどの文化と、現代の社会や歴史との関係性の理解を身につけることを目標とする。
	各回内容
	1 現代まんがの誕生「鉄腕アトム」
	2 青年漫画とアニメ「ルパン三世」
	3 少女まんが表舞台へ「エースをねらえ！」
	4 漫画とホビー「マジンガー Z」
	5 漫画と戦争「宇宙戦艦ヤマト」
	6 漫画とメディアミックス「ドラえもん」
	7 世界への挑戦「AKIRA」
	8 戦う少女漫画「美少女戦士セーラームーン」
	9 少年漫画最盛期「ドラゴンボール」
	10 オタクの台頭「新世紀エヴァンゲリオン」
	11 異端から正統へ「風の谷のナウシカ」
	12 少年から少女へ「鋼の錬金術師」
	13 海外の漫画 1:BD と「ヘヴィメタル」
14 海外の漫画 2: アメコミと「バットマン」	
15 まとめ:00 年代以降の漫画・アニメ	

評 価 方 法 : 期末レポート課題によって評価する。  
課題を提出しない場合、または出席が 2/3 に満たない場合は E 評価とする。

教 科 書 : 特になし。毎回映像資料の鑑賞後、講義および板書する。筆記用具を各自準備する。

参 考 図 書 : 適宜授業内で紹介する。

履 修 に あ た っ て : 手塚治虫以降の日本のまんが・アニメの歴史と社会状況を俯瞰視するため、基礎知識は書籍や図録などで押さえておくように心がけたい。

# ヨーロッパ地域論 1 *Area Studies of Europe 1*

2 単位

大 学 名	神戸市外国語大学	担 当 教 員 氏 名	中沢 (並河) 葉子 教授
開 講 期 間	前期 (4/11 ~ 8/1)	開 講 曜 日・時 間	月曜日 17:50 ~ 19:20
対 象 学 年	指定なし	募 集 人 員	20 名程度

科 目 内 容	国家を超えた地域統合が進むヨーロッパについて、「ヨーロッパ」という地域概念が生成してきた歴史的背景を考えるとともに、域内の多様性と特色を考える。		
	各回内容		
	1	ガイダンス	
	2	古地図に見るヨーロッパ	
	3	ケルトの世界	
	4	ヨーロッパとは何か：地理学的な指標	
	5	ヨーロッパとは何か：歴史的指標	
	6	環地中海世界	
	7	環地中海世界の解体とヨーロッパの成立	
	8	キリスト教	
	9	東ヨーロッパと西ヨーロッパ 1	
	10	東ヨーロッパと西ヨーロッパ 2	
	11	ヨーロッパの農業	
	12	ヨーロッパの食生活	
	13	ヨーロッパの人口動態	
14	まとめ		
15	試験		

評 価 方 法：レポートまたは試験により評価する。

教 科 書：とくに指定しない。

参 考 図 書：授業の中で随時指示する。

履 修 に あ た っ て：授業の中ではほぼ毎回資料を配布するので、出席すること。

# 国際取引法 1 *International Trade Law 1*

2 単位

大 学 名	神戸市外国語大学	担 当 教 員 氏 名	植田 淳 教授
開 講 期 間	前期 (4/14 ~ 8/4)	開 講 曜 日 ・ 時 間	木曜日 17:50 ~ 19:20
対 象 学 年	指定しない	募 集 人 員	50 名程度

科 目 内 容	貿易取引を中心とした種々の国際取引について、法的・実務的観点からわかりやすく解説する。前期の「国際取引法 1」で、貿易取引を中心とした総論を、後期の「国際取引法 2」で各論的諸問題を扱う（なお、諸般の都合により、以下の通りに進まない場合もありうる）。	
	各回内容	
	1	国際取引法の意義と特色
	2	貿易取引の全体像 I
	3	貿易取引の全体像 II
	4	英文契約書 I
	5	英文契約書 II
	6	英文契約書 III
	7	国連物品売買条約
	8	インコタームズ I
	9	インコタームズ II
	10	外国為替 I
	11	外国為替 II
	12	国際物品運送 I
	13	国際物品運送 II
14	国際貨物保険	
15	要点のまとめ	

評 価 方 法 : 期末試験によって評価する。単位取得については、一定の出席要件を課する。詳しくは、初回に説明する。

教 科 書 : 植田淳著『国際ビジネスのための英米法入門 第 2 版』(法律文化社)

参 考 図 書 : 木棚ほか編『プライマリー国際取引法』(法律文化社)  
 澤田ほか編著『マテリアルズ国際取引法 (第 3 版)』(有斐閣)  
 佐野寛『国際取引法 (第 4 版)』(有斐閣)  
 Schmitthoff's Export Trade (12th ed.) (Sweet & Maxwell)

履 修 に あ た っ て : 私語・居眠り等の授業妨害行為は、厳禁。退室を求めることがある。

# 臨床心理学入門 1 *Intoroduction to Clinical Psychology 1*

2 単位

大 学 名	神戸市外国語大学	担 当 教 員 氏 名	金沢 晃 准教授
開 講 期 間	前期 (4/14 ~ 8/4)	開 講 曜 日・時 間	木曜日 17:50 ~ 19:20
対 象 学 年	全学年	募 集 人 員	教室収容可能な人数

科 目 内 容	臨床心理学は、心理的問題を抱える個人の状態を理解（アセスメント）し、適切な援助を行うための基礎となる学問です。この講義では、精神疾患を中心に取り上げ、理解を深めます。		
	各回内容		
	1	ガイダンス - 臨床心理学とは -	
	2	統合失調症 (1) - 概念の変遷と疫学 -	
	3	統合失調症 (2) - 症状と類型、治療 -	
	4	統合失調症 (3) - 事例を通して学ぶ -	
	5	依存症 (1) - 症状 -	
	6	依存症 (2) - 世代間伝達の問題 -	
	7	摂食障害 (1) - 類型と症状 -	
	8	摂食障害 (2) - 摂食障害とパーソナリティ -	
	9	パーソナリティ障害 (1) - 「17歳のカルテ」を通して -	
	10	パーソナリティ障害 (2) - 境界性パーソナリティ障害 -	
	11	パーソナリティ障害 (3) - 反社会性人格障害 -	
	12	パーソナリティ障害 (4) - こころの成長と心的な死 -	
	13	自傷行為	
14	アイデンティティの確立 - 青年期の発達課題 -		
15	前期のまとめ		

評 価 方 法：講義中に課す課題（45%）および、理解度を問うテスト（55%）で評価する。

教 科 書：指定しない。

参 考 図 書：講義内で紹介する。

履 修 に あ た っ て：講義中に課す課題に積極的に取り組むこと。

# 西洋史

History of Europe

2 単位

大 学 名	神戸市外国語大学	担 当 教 員 氏 名	指 昭 博 教 授
開 講 期 間	後期 (9/27 ~ 12/13・1/10 ~ 1/31)	開 講 曜 日・時 間	火 曜 日 17:50 ~ 19:20
対 象 学 年	1 年 次 以 上	募 集 人 員	教 室 収 容 可 能 な 人 数

科 目 内 容	「キリスト教とヨーロッパ社会」	
	キリスト教と中世から近代にかけてのヨーロッパ社会との関係を、主に人々の日々の生活とどのように関わったのか、という観点から概観してゆく。	
	予定している主な講義内容は以下の通り。ただし、講義の進行次第で変更することがある。	
	各回内容	
	1	キリスト教の世界観 (1)
	2	キリスト教の世界観 (2)
	3	教会の制度 (1)
	4	教会の制度 (2)
	5	人の一生と教会の関わり (1)
	6	人の一生と教会の関わり (2)
	7	一年の暦と教会 (1)
	8	一年の暦と教会 (2)
	9	宗教改革の波紋 (1)
	10	宗教改革の波紋 (2)
	11	異端・迷信の迫害 (1)
	12	異端・迷信の迫害 (2)
13	キリスト教の文化 (1)	
14	キリスト教の文化 (2)	
15	ヨーロッパ史の中のキリスト教	
16	試験	

評 価 方 法：学期末の試験によって評価する。

教 科 書：とくに用いない。

参 考 図 書：講義の際に適宜紹介する。

履 修 に あ た っ て：特になし

# ヨーロッパ地域論 2 *Area Studies of Europe 2*

2 単位

大 学 名	神戸市外国語大学	担 当 教 員 氏 名	中沢(並河)葉子教授
開 講 期 間	後期 (9/26 ~ 12/19・1/16 ~ 2/6)	開 講 曜 日・時 間	月曜日 17:50 ~ 19:20
対 象 学 年	指定なし	募 集 人 員	20 名程度

科 目 内 容	ヨーロッパ地域論 1 の内容を踏まえて、ヨーロッパ地域が共有している特性と多様性の両面について、とくに家族システムに注目して検討しながら、統合の進む EU の将来を考える。		
	各回内容		
	1	ガイダンス	
	2	ヨーロッパの家族システム	
	3	識字率の推移	
	4	家族システムと人口動態	
	5	ヨーロッパにおける宗教	
	6	宗教改革と出版文化	
	7	政治体制	
	8	ヨーロッパ近代社会の特性	
	9	ヨーロッパと非ヨーロッパ世界	
	10	世俗化、自由主義	
	11	新しい文化の誕生	
	12	社会保障の多様性と家族	
	13	福祉国家のゆくえ	
14	まとめ		
15	試験		

評 価 方 法 : 試験またはレポートにより評価する。

教 科 書 : 特に指定しない。

参 考 図 書 : 授業の中で随時紹介する。

履 修 に あ た っ て : 毎回ハンドアウトを配布するので、出席すること。

# 医療通訳・コーディネーター入門 *Medical Interpreter and Coordinator* 2単位

大 学 名	神戸市外国語大学	担 当 教 員 氏 名	リレー講座
開 講 期 間	後期 (9/28 ~ 12/14・1/11 ~ 2/8)	開 講 曜 日・時 間	水曜日 18:15 ~ 19:45
対 象 学 年	全学年	募 集 人 員	15名程度

科 目 内 容	<p>現在、日本在住の外国人の数は200万人を超え、医療を受ける機会も増えています。その際、言語や文化の違いのために、さまざまな問題に直面します。こうした場面で活躍するのが医療通訳であり、医療通訳コーディネーターです。2020年の東京五輪を控え、その需要が高まり、厚生労働省もその育成に力を入れています。この講義は、神戸市外国語大学と神戸市看護大学が協力して実施する、語学を学ぶ人、看護学・医学を学ぶ人の接点となるユニークな授業です。将来医療通訳として活躍してみたい人、コーディネーターを志したい人のための入門講座で、今年度が4回目です。例年、上記2大学だけでなく、兵庫県立大学看護学部および神戸芸術工科大学の皆さんも熱心に受講して、毎回それぞれの視点からの活発な討議が行われ、大きな成果をあげています。異文化理解や医療制度、医療英語などの講義に加えて、ロールプレイによる医療通訳の演習も行います。言語は英語を主体にする予定ですが、中国語、スペイン語の演習も行います。また外国籍の方や、大学院生の方も歓迎します。</p>		
	各回内容		
	1	医療通訳とは (中村安秀 (大阪大学))	9/28
	2	医療通訳の現状 (村松紀子 (医療通訳研究会 (MEDINT)))	10/5
	3	感染症対策 (山下正 (神戸市看護大学))	10/12
	4	医療制度・診療の流れ (益加代子 (愛知県立大学))	10/19
	5	通訳の基本 (船山仲他 (神戸市外国語大学))	10/26
	6	母子保健 (妊娠・出産・育児) (嶋澤恭子 (神戸市看護大学))	11/2
	7	外国人医療の現状: ナースとして (新垣智子 (りんくう総合医療センター))	11/9
	8	精神保健 (植本雅治 (神戸市看護大学))	11/16
	9	異文化間コミュニケーション (前村奈央佳 (神戸市外国語大学))	11/30
	10	医療通訳1 (川越栄子 (神戸女学院大学))	12/7
	11	医療通訳2 (川越栄子 (神戸女学院大学))	12/14
	12	演習1 (英語) (松岡綾子 (医療通訳者))	1/11
	13	演習2 (英語) (松岡綾子 (医療通訳者))	1/18
	14	演習3 (中国語) (岡本悠馬 (中国語医療通訳者・鍼灸師))	1/25
	15	演習4 (スペイン語)・総合討議 (福嶋教隆 (神戸市外国語大学))	2/1
16	試験	2/8	

評 価 方 法 : 平常点 (50%) および演習・試験 (50%) で評価する。

教 科 書 : 指定しない。毎回プリントを配布する。

参 考 図 書 : 中村安秀・南谷かおり『医療通訳士という仕事…ことばと文化の壁をこえて』, 2013, 大阪大学出版会, ISBN: 9784872594645。  
 村松紀子・連利博・阿部裕『実践医療通訳』, 2015, 松柏社, ISBN: 978-4-7754-0224-5。  
 その他, 講義内で紹介する。

履 修 に あ た っ て : 演習ではロールプレイなどを行う。

## 国際取引法 2 *International Trade Law 2*

2 単位

大 学 名	神戸市外国語大学	担 当 教 員 氏 名	植田 淳 教授
開 講 期 間	後期 (9/29 ~ 12/15・1/5 ~ 1/26)	開 講 曜 日・時 間	木曜日 17:50 ~ 19:20
対 象 学 年	指定なし	募 集 人 員	50 名程度

科 目 内 容	国際取引法における各論的諸問題を扱う。前期の「国際取引法 1」を履修していることを前提に講義を進める（なお、諸般の都合により、以下の通り進まないこともありうる）。	
	各回内容	
	1	品質不良をめぐる紛争 I
	2	品質不良をめぐる紛争 II
	3	不可抗力とハードシップ I
	4	不可抗力とハードシップ II
	5	国際取引契約の主要条項
	6	国際取引の法主体
	7	国際技術移転
	8	国際投資
	9	国際金融
	10	国際取引紛争の解決 I
	11	国際取引紛争の解決 II
	12	国際倒産
	13	国際経済法 I
14	国際経済法 II	
15	要点のまとめ	

評 価 方 法 : 期末試験によって評価する。単位取得については、一定の出席要件を課する。詳しくは、初回に説明する。

教 科 書 : 植田淳著『国際ビジネスのための英米法入門 第2版』(法律文化社)

参 考 図 書 : 澤田ほか編著『マテリアルズ国際取引法 (第3版)』(有斐閣)  
木棚ほか編『プライマリー国際取引法』(法律文化社)  
佐野寛『国際取引法 (第4版)』(有斐閣)  
Schmitthoff's Export Trade (12th ed.) (Sweet & Maxwell)

履 修 に あ た っ て : 私語・居眠り等の授業妨害行為は、厳禁。退室を求めることがある。

## 臨床心理学入門 2 *Intoroduction to Clinical Psychology 2*

2 単位

大 学 名	神戸市外国語大学	担 当 教 員 氏 名	金沢 晃 准教授
開 講 期 間	後期 (9/29 ~ 12/15・1/5 ~ 1/26)	開 講 曜 日・時 間	木曜日 17:50 ~ 19:20
対 象 学 年	全学年	募 集 人 員	教室収容可能な人数

科 目 内 容	臨床心理学は、心理的問題を抱える個人の状態を理解（アセスメント）し、適切な援助を行うための基礎となる学問です。この講義では、前半は臨床心理学入門 1 に続いて心理的問題や精神疾患を中心に上げ、後半は、カウンセリングや心理療法の実際や、心理検査を紹介します。		
	各回内容		
	1	ガイダンス - 精神科医療の現状と課題 -	
	2	アタッチメントと愛情剥奪	
	3	反応性アタッチメント障害	
	4	こころの芽生え	
	5	アタッチメントのまとめ	
	6	うつ病 (1) - 症状、病前性格 -	
	7	うつ病 (2) - 治療について -	
	8	現代型うつ病 - 症状の特徴と治療 -	
	9	認知症 (1) - 症状とアセスメント -	
	10	認知症 (2) - 回想療法 -	
	11	心理療法 (1) - パーソンセンタードアプローチ -	
	12	心理療法 (2) - ゲシュタルト療法と論理情動療法 -	
	13	心理療法 (3) - 認知行動療法とうつ病 -	
	14	心理療法 (4) - 精神分析的心理療法 -	
15	後期のまとめ		

評 価 方 法：講義中に課す課題（45%）および、理解度を問うテスト（55%）で評価する。

教 科 書：指定しない。

参 考 図 書：講義内で紹介する。

履 修 に あ た っ て：講義中に課す課題に積極的に取り組むこと。私語など、講義の妨げ、他の受講生の迷惑になるような行為は差し控えること。

# 国際地域研究 I *International Area Studies I*

2 単位

大 学 名	兵庫県立大学	担 当 教 員 氏 名	野津 隆志 教授
開 講 期 間	前期 (4/11 ~ 8/2)	開 講 曜 日・時 間	月曜日 16:30 ~ 18:00
対 象 学 年	1 年次以上	募 集 人 員	70 名程度

科 目 内 容	NPO・NGO・ボランティアが行う市民活動について学ぶ。主に兵庫県内とタイ・韓国などアジア諸国での市民活動について、私が行った調査から事例を取り上げ、具体例に則して市民活動の概要・役割・課題について学ぶ。		
	各回内容		
	1	ガイダンス NPO とは	
	2	ひょうごの NPO	
	3	欧米とアジアの NPO	
	4	ソーシャルビジネスとは	
	5	タイ農村のソーシャルビジネス	
	6	障害者の社会的包摂とソーシャルビジネス	
	7	育児ママによるソーシャルビジネス	
	8	アジアにおける人の移動と NGO	
	9	タイのグローバリゼーションと NGO	
	10	タイの外国人労働者と NGO	
	11	兵庫の多文化共生と NGO	
	12	ボランティアの現状	
	13	大学生とボランティア (1)	
14	大学生とボランティア (2)		
15	試験		

評 価 方 法：出席・平常点（40%）および期末試験（60%）で評価する。課題を提出しない場合、または出席が 2/3 に満たない場合は E 評価とする。

教 科 書：野津隆志「市民活動概論 ひょうごとアジアの NPO・NGO・ボランティアを学ぶ」  
学術研究出版 / BookWay 書店 1800 円

参 考 図 書：講義内で紹介する。

履 修 に あ た っ て：この授業は一方的に教員が講義する形式では行いません。学生同士の討論、グループ作業、発表などが頻繁にあります。知らない人とでもコミュニケーションできる学生のみ受講を認めます。初回は授業概要を説明するので必ず出席すること。

# リスク・マネジメント *Risk Management*

4 単位

大 学 名	兵庫県立大学	担 当 教 員 氏 名	田中隆准教授
開 講 期 間	前期 (4/11 ~ 8/2)	開 講 曜 日・時 間	火曜日 16:30 ~ 19:45
対 象 学 年	2 年次以上	募 集 人 員	指定しない

科 目 内 容	本講義では、リスクの概念やリスク・マネジメントにおける歴史・変遷等を説明し、RM の理論について体系的に解説する。また組織における失敗の事例等と共に、RM と企業経営の関係、リスク・ファイナンスの現状等も紹介し、RM における理論と事例に関する側面から講義を行う。		
	各回内容		
	1	ガイダンス (年間の講義計画、成績評価基準等の説明)、リスクと我々の生活、企業	
	2	リスクとリスク・マネジメント	
	3	リスク・マネジメントにおける歴史・変遷等	
	4	リスク・マネジメントにおける理論について①	
	5	リスク・マネジメントにおける理論について②	
	6	リスク・マネジメントと保険①	
	7	リスク・マネジメントと保険②	
	8	中間試験、リスクと個人・家計	
	9	リスクと個人・家計、リスクと組織	
	10	リスクと組織、組織における失敗	
	11	組織における失敗とその事例等	
	12	リスク・マネジメントと企業経営	
	13	企業リスクマネジメントとリスク・ファイナンス	
	14	異常災害とリスク・マネジメント	
15	講義全体の復習		
16	試験		

評 価 方 法 : 出席点及び中間試験と定期試験によって、評価を行う (配点は、出席 10 点、中間試験 40 点、定期試験 50 点)。

教 科 書 : テキストは使用せずに、プリントを配付する。

参 考 図 書 : 授業において随時指示する。

履 修 に あ た っ て : 毎回の授業に出席すること。特に初回は授業概要を説明するので必ず出席すること。講義中は私語を慎み他の受講生の迷惑にならないようにすること。

# 組織の経済学 *organizational economics*

4 単位

大 学 名	兵庫県立大学	担 当 教 員 氏 名	清水 隆則 准教授
開 講 期 間	後期 (10/3 ~ 12/19・1/5 ~ 2/8)	開 講 曜 日・時 間	月曜日 16:30 ~ 18:00 木曜日 16:30 ~ 18:00
対 象 学 年	2 年次以上	募 集 人 員	指定しない

科 目 内 容	講義目的は、組織の経済学の 3 つの代表的な理論を理解することである。 到達目標は、組織が何故形成され、組織の形態はどのようにして決まるかを経済学的に説明することができるようになることである。	
	各回内容	
	1	取引コスト理論：基本原理
	2	取引コスト理論：組織デザイン
	3	取引コスト理論：経営戦略
	4	取引コスト理論：コーポレート・ファイナンス
	5	取引コスト理論：組織・戦略の不条理
	6	エージェンシー理論：基本原理
	7	エージェンシー理論：アドバース・セレクション、モラル・ハザード
	8	エージェンシー理論：コーポレート・ガバナンス
	9	エージェンシー理論：組織形態、人事労務
	10	エージェンシー理論：コーポレート・ファイナンス、組織の不条理
	11	所有権理論：基本原理
	12	所有権理論：環境問題との関係
	13	所有権理論：企業組織
	14	所有権理論：経営戦略
15	所有権理論：組織・戦略の不条理	
16	試験	

評 価 方 法：期末試験 60% と平常点 40%。

教 科 書：菊澤研宗『組織の経済学入門—新制度派経済学アプローチ』（有斐閣、2006 年）

参 考 図 書：1. ダウマ = スクルーダー『組織の経済学入門（第 3 版）』（文真堂、2007 年）  
2. 柳川隆・町野和夫・吉野一郎『ミクロ経済学・入門：ビジネスと政策を読みとく』（有斐閣、2008 年）  
3. 柳川範之『契約と組織の経済学』（東洋経済新報社、2000 年）

履 修 に あ た っ て：講義内容の復習を定期的に行うこと。

# 情報メディア論 *Information and Multimedia Technology*

4 単位

大 学 名	兵庫県立大学	担 当 教 員 氏 名	古隅 弘樹 准教授
開 講 期 間	後期 (10/3 ~ 12/22・1/5 ~ 2/8)	開 講 曜 日・時 間	火曜日 16:30 ~ 19:45
対 象 学 年	2 年次以上	募 集 人 員	50 名程度

科 目 内 容	メディアの歴史から技術の発展を概観し、メディアの特性による情報伝達の違いや技法について詳解する。また、関連する課題に取り組むことでメディアリテラシーを高める。		
	各回内容		
	1	ガイダンス、情報・メディアとは何か	
	2	メディアの歴史 1 印刷技術	
	3	メディアの歴史 2 通信技術	
	4	メディアの歴史 3 音声技術	
	5	メディアの歴史 4 映像技術	
	6	メディアの歴史 5 計算技術	
	7	マスメディア 1 テレビ	
	8	マスメディア 2 ラジオ	
	9	マスメディア 3 災害・防災	
	10	マスメディア 4 広告・雑誌	
	11	マスメディア 5 インターネット	
	12	素材の特性 1 配色と図形	
	13	素材の特性 2 情報表現	
14	マスメディアの将来		
15	試験		

評 価 方 法：出席や提出物による平常評価（30～40%）、および試験（60～70%）により評価する。

教 科 書：毎回の資料を配布予定。

参 考 図 書：西端律子他『メディアリテラシー』実教出版（2004年）  
橋元良昭『メディアと日本人：変わりゆく日常』岩波新書（新赤版）1298（2011年）  
渡辺武達他『メディア学の現在：新訂 第2版』世界思想社（2015年）

履 修 に あ た っ て：情報科学概論など、情報関連の入門科目を履修済みであることが望ましい。  
原則として、出席回数が講義回数の 2/3 以上の受講者を評価の対象とする。

# 地域・都市集客論

Visitor Attracting Theory to Rural & Urban

2 単位

大 学 名	流通科学大学	担 当 教 員 氏 名	小久保 恵三 教授
開 講 期 間	前期 (4/12 ~ 7/26)	開 講 曜 日 ・ 時 間	火曜日 18:15 ~ 19:45
対 象 学 年	2 年次以上	募 集 人 員	50 名程度

科 目 内 容	<p>わが国では国の指導によって町村合併が各所で進められてきました。かつて3,000を超える数の自治体がありましたが、そのうち、90%以上において、今後人口減が必至であり、町村合併はそうした事態への対応策のひとつであったといえます。</p> <p>合併すれば行政職員や議員の数も減少することになります。それまで持っていた権益を失う人も多くなるでしょう。それなのに多くの自治体が合併を推進したということは、それだけ危機意識が強いということでもありました。しかし、合併して行政規模を大きくするだけでは問題は解決しません。定住人口（住民）増が見込めない以上、交流人口をどの程度増やしていくかが、多くの市町村の関心事項になっているのです。交流人口とはその地域を様々な目的で訪れる人々のことです。交流人口は観光客と言い換えることも可能ですが、最近は単に「ものを見に来る」人に限らなくなっています。この講義は従来の「狭い意味の観光」のみならず、定義を拡大して、交流人口拡大のための手法にはどのようなものがあるか、交流の過程でどのような問題が生じるのか、どのような方法でそれを克服して地域を経営していくのかなど、実例を混えながら勉強するものです。</p> <p>本論では学習対象の地域を大きく、①非都市部と②都市部に分けます。①非都市部では温泉地、農村、自然環境地、などを取りあげて、集客交流を地域経営にどう生かすかを学びます。②都市部に関する学習では神戸フィルムオフィス代表の田中先生も講義に参画します。授業計画にあるように、8回目から10回目までの講義において、フィルムツーリズムという手法で行われる都市プロモーションを学びます。対象は国内のみならず、海外の事例もとり上げます。このような集客手法は「コンテンツ・ツーリズム」ともいわれ、注目を浴びています。</p> <p>なお、田中先生の授業スケジュールは都合によって変更になる可能性があります。その場合は最初の授業ガイダンスの際にお知らせします。</p>		
	各回内容		
	1	はじめに / 観光から交流へ 1	地域経営の視点に立って、観光から交流へとキーワードが移りつつある現況を解説
	2	地域創生へのとりくみ	官・学・地域・産による定住・交流社会実現へのシナリオ研究
	3	温泉資源と地域経営 1	温泉の定義を洋の東西に分けて整理し、わが国の温泉利用の実態を分析
	4	温泉資源と地域経営 2	温泉資源を抱える観光地の経営的な課題を探る
	5	農村資源と地域経営 1	農村観光の定義とイギリスの事例研究
	6	農村資源と地域経営 2	わが国の農村が抱える諸課題の抽出
	7	農村資源と地域経営 3	新農政のもとに展開されている日本型農村観光
	8	都市への集客 1 (田中講師)	神戸フィルムオフィスの取り組み
	9	都市への集客 2 (田中講師)	わが国諸都市の誘客戦略とフィルムツーリズム
	10	都市への集客 3 (田中講師)	海外の諸地域におけるフィルムツーリズム
	11	都市への集客 4	都市観光の系譜と資源
	12	都市への集客 5	MICE への取り組み
	13	自然資源と地域経営 2	エコツーリズムによる地域経営
	14	自然資源と地域経営 2	エコツーリズムによる地域経営
15	総括-地域経営事業の課題と戦略		

評 価 方 法：①中間テスト、②定期テストによる総合評価を行います。受講時の平常点も加味します。出欠は毎回とり、平常点として参考にします。

教 科 書：特に指定しません。プリントを適宜配布します。

参 考 図 書：参考文献としては、東洋経済新報社「観光読本」、碩学社「一からの観光」、学芸出版社「温泉地再生」、中公新書「地方消滅 - 東京一極集中が招く人口急減」など。  
またタイムリーな話題に接するために、「トラベルジャーナル」、「観光」、「レジャー白書」などの雑誌類にも親しんでください。

履 修 に あ た っ て：講義中に配布するプリントだけでは試験で優れた答案は書けません。平日頃から、新聞、テレビ、書籍などで「地域の活性化」についての関心を持つこと。授業では筆記用具を必ず持参して、しっかりノートをとること。

# 臨床心理学 *Clinical Psychology*

2 単位

大 学 名	流通科学大学	担 当 教 員 氏 名	岩崎 久志 教授
開 講 期 間	後期 (9/26 ~ 12/19・1/16 ~ 2/6)	開 講 曜 日・時 間	月曜日 18:15 ~ 19:45
対 象 学 年	2 年次以上	募 集 人 員	50 名程度

科 目 内 容	<p>近年、様々な社会現象と関連して「こころ」の問題に対する興味が高まっており、臨床心理学の応用分野も拡大してきている。臨床心理学の知識は、単にヘルスケアの基礎としてだけでなく、広くヒューマンサービスの領域で仕事をする場合にも不可欠と思われるが、必ずしも正確に理解されていないのが現状のようである。</p> <p>本講では臨床心理学の歴史や対象、方法、そして具体的な技術等について学ぶことを主題とする。</p>		
	各回内容		
	1	臨床心理学とは	
	2	臨床心理学の歴史	
	3	対人援助に活かす臨床心理学	
	4	臨床心理学と関連領域	
	5	対人援助職としての基本	
	6	主要理論① (精神分析)	
	7	主要理論② (来談者中心療法)	
	8	主要理論③ (行動療法)	
	9	その他の療法 (認知行動療法など)	
	10	援助の方法①	
	11	援助の方法②	
	12	チーム支援とコミュニケーション技術	
	13	心理アセスメントの基礎	
14	臨床心理学の課題		
15	試験		

評 価 方 法：出席等および小レポートの内容が 40%、定期試験が 60% の配分 (予定) とする。

教 科 書：岩崎久志『看護・チーム支援に活かすカウンセリング-対人援助  
他職種連携に必要なコミュニケーション技術-』晃洋書房 2014 年

参 考 図 書：講義内で紹介する。

履 修 に あ た っ て：本講義は、看護・医療・福祉さらに教育といった広義の対人援助に関心を持つ人の受講を期待する。  
教科書に沿って進めていくため、毎回携行すること。また、心理学の基礎に関する授業をすでに履修済みであることが望ましい。

# 英文ニュースで学ぶ経済問題 *Japanese Economy*

2 単位

大 学 名	流通科学大学	担 当 教 員 氏 名	Thomas Schalow (T. シャーロー) 教授
開 講 期 間	後期 (9/27 ~ 12/13・1/10 ~ 1/31)	開 講 曜 日・時 間	火曜日 18:15 ~ 19:45
対 象 学 年	2 年次以上 (TOEIC 500 点以上必要)	募 集 人 員	15 名程度

科 目 内 容	This class examines some of the most important challenges facing the Japanese economy as it moves into the 21st century. (日本経済の特徴とその未来を検討する。)		
	各回内容		
	1	Introduction (ガイダンス)	
	2	The Demise of "Made in Japan" (メイド・イン・ジャパンの崩壊)	
	3	The Music of an Entertainment Economy (エンターテインメント経済とその音楽)	
	4	A Manga Economy (漫画の経済)	
	5	Economic Life in a 24/7 Economy (コンビニ社会とその経済面)	
	6	Food Security (食料安全保障)	
	7	Energy Security (エネルギー安全保障)	
	8	Homelessness and Poverty in Japan (ホームレスと貧困とその経済面)	
	9	Global Companies/Global Employees (グローバル企業およびグローバル社員)	
	10	Housing and Lifestyle (住宅ライフスタイル)	
	11	Weapons, Defense, and the Economy (武器、防衛、経済)	
	12	The Future of Work - Freeter Society (フリーター社会および仕事の未来)	
	13	Marriage and the Economy (結婚とその経済面)	
14	The Business of Beauty (美貌のビジネス)		
15	Final Examination/ Conclusion (期末試験と結論)		

評 価 方 法：毎週の小テスト (60%)、ディスカッション (25%)、期末試験 (15%) で評価する。

教 科 書：指定しない。

参 考 図 書：講義内で紹介する。

履 修 に あ た っ て：毎回の授業に出席すること。特に初回は授業概要を説明するので必ず出席すること。

# 証券論

Investments

2 単位

大 学 名	流通科学大学	担 当 教 員 氏 名	福田 司文 教授
開 講 期 間	後期 (9/27 ~ 12/13・1/10 ~ 1/31)	開 講 曜 日・時 間	火曜日 18:15 ~ 19:45
対 象 学 年	3 年次以上	募 集 人 員	15 名程度

科 目 内 容	<p>現代の証券市場を構成する株式と債券を中心に証券取りの仕組みと証券投資の問題を講義する。投資においては株式、債券の評価、分析が重要であるがこの点について統一的な理解が得られるよう基礎概念を中心に講義する。</p> <p>以下は予定の内容である。受講生の理解力によっては内容を変更する可能性もあることも了承してほしい。一つのトピックを複数回に分けて授業するので、全部カバーできないかもしれない。</p>		
	各回内容		
	1	導入：証券の役割	
	2	経済活動と金融システム	
	3	株式の種類、株式売買	
	4	株式 上場制度、特徴的な取引 (1)	
	5	株式 上場制度、特徴的な取引 (2)	
	6	株式の種類と様々な発行方法	
	7	財務諸表と投資尺度 (1)	
	8	財務諸表と投資尺度 (2)	
	9	株式のリスク	
	10	株価の予測 (1)	
	11	株価の予測 (1)	
	12	債券投資	
	13	投資信託 (1)	
14	投資信託 (2)		
15	まとめ		

評 価 方 法： 期末試験 70%、授業中の復習クイズ、出席で 30%。

教 科 書： 配付資料によって授業を進める。

参 考 図 書： 榊原・城下・姜・福田・岡村、『入門証券論』、有斐閣  
川北、『テキスト株式・債券投資』、中央経済社

履 修 に あ た っ て： かたまりごとに学習内容を簡単なクイズで復習するように努める。出席を怠らないように。

# 金融機関論 *Lecture on Financial Institution*

2 単位

大 学 名	流通科学大学	担 当 教 員 氏 名	森澤 龍也 准教授
開 講 期 間	後期 (9/29 ~ 12/15、1/5 ~ 1/26)	開 講 曜 日・時 間	木曜日 18:15 ~ 19:45
対 象 学 年	3 年次以上	募 集 人 員	50 名程度

科 目 内 容	①金融機関はなぜ存在しており、どのような役割を果たしているのかを学ぶ。 ②日本においてどのような金融機関があり、それが経済動向とどのような関係をもっているのかを学ぶ。 ③金融機関に関連する記事・ニュースを理解するために必要な基礎知識を習得する。		
	各回内容		
	1	はじめに：金融機関論序論	
	2	金融機関と金融取引①：金融取引とは何か	
	3	金融機関と金融取引②：金融機関の存在意義	
	4	日本の金融機関：金融機関の種類と金融構造	
	5	情報の非対称性と貸出市場	
	6	銀行①：現状と課題	
	7	銀行②：信用創造機能	
	8	銀行③：健全性の指標と格付け	
	9	証券会社・保険会社	
	10	日本の金融システムの特徴	
	11	高度経済成長期の金融構造	
	12	金融規制とメインバンク制	
	13	平成バブルと金融機関：バブルの発生と崩壊	
	14	ポストバブルと金融機関：日本経済の失われた 10 年 (15 年)	
15	おわりに：総復習		
16	期末試験		

評 価 方 法：基本的には、期末試験によって評価する。  
※この他、講義中に小試験を行うことがある。小試験の評価は上記評価への加算とする。

教 科 書：森澤龍也『レクチャー & エクササイズ 金融論』新世社

参 考 図 書：講義中に適時紹介する。

履 修 に あ た っ て：金融論・経済学の基礎を前提とする。  
教科書持参のうえで講義に参加されたい。

# 地域学

Regional Study

2 単位

大 学 名	神戸市立工業高等専門学校	担 当 教 員 氏 名	八百 俊介 教授
開 講 期 間	前期 (4/12 ~ 8/2)	開 講 曜 日・時 間	火曜日 18:15 ~ 19:45
対 象 学 年	1 年次以上	募 集 人 員	40 名程度

科 目 内 容	震災後に作られる仮設住宅に居住地単位に集団で入居させるのはなぜなのか。地域の安全と環境を守るのは誰なのか。「自治会」という名の共同体について現状を把握した上で今後の課題についてデータをもとに考察していく。		
	各回内容		
	1	地域社会の位置づけ 1	
	2	地域社会の位置づけ 2	
	3	地域社会の組織構造	
	4	機能の変化と要因	
	5	機能の分類と実例 1	
	6	機能の分類と実例 2	
	7	機能の分類と実例 3	
	8	組織再編 - 人の確保 1-	
	9	組織再編 - 人の確保 2-	
	10	組織再編 - 人の確保 3-	
	11	活動と領域 - 場と空間 1-	
	12	活動と領域 - 場と空間 2-	
	13	活動と領域 - 場と空間 3-	
14	会計の問題 1		
15	会計の問題 2		

評 価 方 法 : 定期試験 90%、レポート 10%

教 科 書 : 授業時にレジュメを配布

参 考 図 書 : 授業時に紹介

履 修 に あ た っ て : 全体を通じて意味を成すので、その点を心がけることを望む。

# 応用倫理学 *Applied Ethics*

2 単位

大 学 名	神戸市立工業高等専門学校	担 当 教 員 氏 名	手代木陽教授
開 講 期 間	後期 (9/26 ~ 12/19・1/5 ~ 2/8)	開 講 曜 日・時 間	火曜日 18:15 ~ 19:45
対 象 学 年	全学年	募 集 人 員	40 名程度

科 目 内 容	倫理学の根本問題は「人間はいかに生きるべきか」ということである。この講義では科学技術と人間の生き方の問題を考える。科学技術の進歩が現代社会に投げかけている諸問題は科学的・政治的であると同時に、勝れて倫理的問題でもある。その根本には「人間はいかに生きるべきか」という問いがあるからである。この点を生命倫理・環境倫理・情報倫理の問題を通して考えてみたい。	
	各回内容	
	1	応用倫理学とは？－「人間」への問い
	2	人間とは？－ヒトと類人猿と人工知能の差異
	3	科学技術と人間－ハンス・ヨナスの技術観
	4	人間の生死と技術 (1) 患者の意思に応じた尊厳死や安楽死は許されるか？
	5	人間の生死と技術 (2) 脳死は「人の死」か？－「死の定義」の問題
	6	人間の生死と技術 (3) 臓器移植で 10 人を救うために 1 人を犠牲にしてもよいか？
	7	人間の生死と技術 (4) 胎児に「生存権」はあるか？－人工妊娠中絶の是非
	8	人間の生死と技術 (5) 他人の精子・卵子・子宮で子どもを作ってもよいか？
	9	人間の生死と技術 (6) 遺伝子技術は「人間の尊厳」を傷つけないか？
	10	人間と環境 (1) 市場社会システムで地球温暖化問題を解決できるか？
	11	人間と環境 (2) 生態系を破壊する「移入種」を駆除してもよいか？
	12	人間と環境 (3) 未来の人間のために環境を守る義務はあるか？
	13	人間と情報 (1) インターネットは「共倫的な道具」か？
14	人間と情報 (2) 機械で人の意志を制御してもよいか？	
15	まとめ	

**評 価 方 法**：毎時間その日のテーマに関して小レポートを提出してもらおう。これを評価の 5 割とする。後の 5 割は試験で評価する（統一試験が不可能な場合には課題レポートをこれに代える）。どちらも自分の考えをどれだけ論理的に展開できているかどうか、またその独創性が評価の基準になる。

**教 科 書**：プリント資料を配布。

**参 考 図 書**：講義で随時指示する。

**履 修 に あ た っ て**：予備知識は一切必要なし。自分の頭で考える訓練が大事である。

# 技術史

History of Technology

2 単位

大 学 名	神戸市立工業高等専門学校	担 当 教 員 氏 名	中辻 武 名誉 教授
開 講 期 間	前期 (4/11 ~ 8/4)	開 講 曜 日 ・ 時 間	木曜日 16:30 ~ 18:00
対 象 学 年	1 年次以上	募 集 人 員	30 名程度

科 目 内 容	<p>古代から現在までの科学と文化を四大文明期、ルネッサンス期、産業革命期、現代に大別し概説した後、古代より脈々と続いている個々の科学・技術の進展の歴史を各文化の観点から考察する。</p> <p>また、各文化において行われてきた科学・技術計算に習熟していただく。さらに、発明の発想ツールで開発された過去の科学・技術を紹介し、文系・理系を問わず、発明・発見に対するモチベーションを高めていただくとともに、自身の研究や興味を持っている事柄に関する認識を深めるためにそれらの歴史的進展を調べていただく。</p> <p>最後に、現代文明における科学・技術的問題点を見つけ出し、それをいかにすれば解決できるかを考えていただくようにしたい。</p>
	各回内容
	1 四大文明期の科学と文化 [(1) メソポタミア (2) エジプト]
	2 四大文明期の科学と文化 [(3) 中国 (4) インド]
	3 巨石・巨木文明期から中世にかけての科学と文化 [(1) 世界の巨石文明 (2) 日本の巨木文明 (3) 中世]
	4 近代の萌芽・近代・現代 [(1) ルネッサンス期 (2) 18 ~ 20 世紀 (3) 現代]
	5 原動機の科学・技術的進展
	6 図法の科学・技術的進展
	7 加工の科学・技術的進展
	8 車の科学・技術的進展
	9 舟の科学・技術的進展
	10 導水機械 / 設備の科学・技術的進展
	11 歯車の科学・技術的進展
	12 軸受の科学・技術的進展
	13 トライボロジーの科学・技術的進展
	14 バイオ / ナノトライボロジーの科学・技術的進展
15 新幹線の科学・技術的進展	

評 価 方 法 : 筆記試験に代わる論文 (レポート) の成績 (50% 評価)。臨時試験 (20% 評価)  
各人の研究テーマあるいは興味ある内容の歴史的進展 (レポート) の成績 (30% 評価)。

教 科 書 : オリジナル資料を人数配布する。

参 考 図 書 : 下間頼一、緒方正則、中辻 武、他 2 名『技術の文化史』(関西大学出版) 2012 年 3 月 pp1-289.  
下間頼一、緒方正則、中辻 武、他 11 名『技術の文化史 II』(関西大学出版) 2015 年 3 月 pp1-253.

履 修 に あ た っ て : (到達目標)

- ・ 個々の科学・技術が、大別した各文化においてどのように進展してきたかを認識するよう努力する。
- ・ 古代から現代までの様々な科学・技術計算ができるようになる。
- ・ 個々の科学・技術が、発明の発想ツール (遅速・破壊・逆転・転用・五感・温故知新等) のいずれによって、発明・発見され進展してきたのかを認識する。
- ・ 現代文明における科学・技術的問題点を見つけ出し、それをいかにすれば解決できるかを考察できるようになる。
- ・ 個々の研究テーマおよび興味ある内容の歴史的進展を調べ、研究等に対するモチベーションを高めるとともに、その内容の有用性について考える。

所持品 : 筆記具とメモ用紙・関数電卓等

# 現代思想文化論 *A Study of Modern Thinkings and Culture*

2 単位

大 学 名	神戸市立工業高等専門学校	担 当 教 員 氏 名	手代木陽教授
開 講 期 間	前期 (4/11 ~ 8/4)	開 講 曜 日 ・ 時 間	木曜日 18:15 ~ 19:45
対 象 学 年	全学年	募 集 人 員	60 名程度

科 目 内 容	グローバル化の進行に伴い、アメリカをはじめとする西欧自由主義諸国の政治経済のシステムの支配が全世界に拡大する一方で、国家、民族、宗教、文化間においてこれまでにない新たな対立や格差が生じている。こうした対立や格差を解消するためには「地球全体」という視点が不可欠であるが、「地球全体」がいかなる全体であるかは必ずしも明らかではない。本講義では様々な倫理的対立の諸問題を取り上げながら、「地球全体」という視点をどこに見出すべきかを探求する。		
	各回内容		
	1	グローバル化と倫理的課題	
	2	市場社会に正義はあるか?—暴走電車の倫理	
	3	マイノリティを優遇することは平等か?—アフターマティブ・アクションの是非	
	4	先進国には途上国を助ける義務があるか?—P. シンガーの倫理観	
	5	正義のための戦争は許されるか?—正戦論の是非	
	6	永遠平和は実現できるか?—カントの平和論の射程	
	7	異文化は相互に理解しあえるか?—C. テイラーの多文化主義	
	8	鯨は賢い動物だから食べてはいけないか?—捕鯨問題を巡る対立	
	9	ビジネスとして代理出産をしてもよいか?—市場社会と生命倫理	
	10	「人間の尊厳」はグローバル・スタンダードか?—日本とドイツの生命倫理	
	11	プロスポーツ選手は幹細胞で筋力増強してもよいか?—エンハンスメントの是非	
	12	市場社会は環境問題を解決できるか?—排出権取引の是非	
	13	人類は生存すべきか?—H. ヨナスの世代間倫理	
	14	人間は自然と「和解」できるか?—マイヤー = アービッヒの環境倫理	
15	まとめ		

評 価 方 法：毎時間その日のテーマに関して小レポートを提出してもらおう。これを評価の5割とする。後の5割は試験で評価する（統一試験が不可能な場合には課題レポートをこれに代える）。どちらも自分の考えをどれだけ論理的に展開できているかどうか、またその独創性が評価の基準になる。

教 科 書：プリント資料を配布。

参 考 図 書：講義で随時指示する。

履 修 に あ た っ て：予備知識は一切必要なし。自分の頭で考える訓練が大事である。

# 女性と女性の健康 *Womanhood and health*

1 単位

大 学 名	神戸市看護大学	担 当 教 員 氏 名	高田 昌代 教授 嶋澤 准教授 藤井 准教授 奥山 助教 有本 助教 宮下 助教 平田 助教
開 講 期 間	前期 (4/13 ~ 7/27)	開 講 曜 日・時 間	水曜 18:20 ~ 19:50
対 象 学 年	特になし	募 集 人 員	(本学学生を入れて) 100 名程度

科 目 内 容	女性が日常生活やライフステージの段階を通じて体験し得る様々な健康問題を取り上げ、その原因や対処方法、ケアについての理解を深める。さらに、健康問題の中には女性に共通した社会問題もあり、女性の健康は個人の問題だけでなく、ジェンダーの視点の社会問題としても考えていく。		
	各回内容		
	1	ウイメンズヘルスとは / リプロダクティブ・ヘルス / ライツの考え方	
	2	女性センターに行ってみよう	
	3	女性の健康と患者学一産婦人科のかかり方	
	4	月経にまつわる障害とその対処	
	5	いまどきのお産事情	
	6	更年期女性の健康	
	7	障がいと女性	
	8	陣痛促進剤、会陰切開とお産	
	9	女性とセクシャルヘルス (避妊法を含む)	
	10	人工妊娠中絶について	
	11	不妊にまつわる悩み	
	12	ドメスティック・バイオレンス (デート DV を含む)	
	13	性暴力被害とケア	
14	在日外国人の母子保健		
※科目内容の順序は、1 回目講義時に提示します。			

評 価 方 法 : レポート (80%)  
プレゼンテーション (20%)

教 科 書 : プリント資料を配布します。

参 考 図 書 : 「女性の看護学」メジカルフレンド社  
「リプロダクティブヘルス / ライツ」メディカ出版  
「ウーマンズボディ」鎌倉書房  
「ドメスティックバイオレンスの視点」朱鷺書房  
「デート DV Q&A」解放出版  
これ以外の参考文献などは授業中に提示します。

履 修 に あ た っ て : 講義は、全体として意味をなすので、毎回出席のこと。講義だけでなく、ワークや視聴覚教材の活用、女性センターの見学の体験ができるような教育方法を行います。  
受講生は開講中 1 回、興味のあるテーマについて 5 分程度のプレゼンテーションを課しています。  
少しだけ予習してくることで他の人に自分の主張を伝えることの楽しさを経験できます。  
講義開始時刻は、各大学からのアクセス時間を考慮して、18:20 からとします。

# 社会学

Sociology

2 単位

大 学 名	神戸市看護大学	担 当 教 員 氏 名	樫田 美雄 准教授
開 講 期 間	前期 (4/13 ~ 7/13) <small>(補講は、期間中に4回、16:40 ~ 19:45の連続授業をする。具体的には、4月20日、6月29日、7月6日、7月13日の4回は2コマ連続授業として実施する。なお、補講日のスタート時間は移動の時間を考えて16:40からとする。)</small>	開 講 曜 日 ・ 時 間	水曜日 18:15 ~ 19:45
対 象 学 年	1 年次以上	募 集 人 員	50 名程度

科 目 内 容	<p>講義の前半では、誕生から死に至るまで、人の一生に起こる身近で切実なテーマを通して社会学を学ぶ。(グループワーク方式で学ぶ予定) 人間の生命や生涯を、具体的な事例を通して社会関係・社会構造・時代背景のなかで考える。</p> <p>社会学の今日的エッセンスを、コンパクトにまとめられた教科書を通して学ぶ。</p> <p>講義の後半では、社会学の広がりやさらに理解するために、方法としての相互行為分析と以下の各トピックを学ぶ。すなわち、「相談の社会学」、「災害の社会学」、「セクシャルマイノリティの社会学」、「発達障害の社会学」、「在宅医療の社会学」、「医療情報の社会学」等について学ぶ。これらを通して、社会学的教養を獲得する。1回は街歩きも行いたい。</p>		
	各回内容		
	1	教科書『いのちとライフコースの社会学』の第1章「医療の社会学」	
	2	教科書『いのちとライフコースの社会学』の第5章「生命保険の社会学」	
	3	教科書『いのちとライフコースの社会学』の第7章「看護職の仕事」	
	4	教科書『いのちとライフコースの社会学』の第8章「ライフコース論の現在」	
	5	教科書『いのちとライフコースの社会学』の第11章「年金と世代」	
	6	教科書『いのちとライフコースの社会学』の第16章「認知症の人の『語り』」	
	7	教科書『いのちとライフコースの社会学』の第17章「ハンセン病者の半生」	
	8	社会学史概説……市民社会の自己認識の学としての社会学 & 「街歩き」	
	9	アイロニーの社会学・・思わざる効果 (社会的ジレンマ・共有地の悲劇 =NHKTV=)	
	10	アンジャッシュの漫才の特徴と会話分析 (隣接対・カテゴリー研究)	
	11	「ガラス・コール」と「山形大生死亡事件 (2011)」(専門家の慎重さ、ほか)	
	12	「ハドソン川の奇跡」とレリバンス (有意味性) と街歩き (観察から何がわかるか)	
	13	「ガラスの仮面」における「限られた台詞」と「失語症の社会学」と「在宅医療の社会学」& 「発達障害の社会学」	
	14	レポート発表会 (2 コマ連続)	
15	レポート発表会 (2 コマ連続)		

評 価 方 法 : 平常点 (40%) とレポート (60%)

教 科 書 : 藤村正之篇 2011 『いのちとライフコースの社会学』 弘文堂, 2310 円 (税込) ←必購入!  
<http://www.koubundou.co.jp/books/furoku/55149pdf/55149.pdf>, に序文の一部が公開されている.

参 考 図 書 : 橋本努 2013 『学問の技法』 ちくま新書, 780 円 (税抜)  
 串田秀也・好井裕明編 2010 『エスノメソドロジーを学ぶ人のために』 世界思想社, 2400 円 (税抜)  
 D. メイナード著、樫田美雄・岡田光弘訳、2004 『医療現場の会話分析』 勁草書房, 2900 円 (税抜)  
 藤村正之の 2008 『<生>の社会学』 東京大学出版会, 2800 円 (+ 税)  
 ヘリテッジ & メイナード編, 川島・樫田他訳, 2015 『診療場面のコミュニケーション』 勁草書房, 3600 円 (税抜)  
 山崎敬一編 2004 『実践エスノメソドロジー入門』 有斐閣, 2800 円 (税抜)

履 修 に あ た っ て : 毎回の授業に出席すること。とりわけ初回は、授業概要とコメントシートの書き方を指導するので、必ず出席すること。内容はハードですが、得られるものは大きいはず。志の高い学生諸君の積極的な履修を期待しています。  
 なお、補講日 (4月20日、6月29日、7月6日、7月13日) は、16:40 から2コマ連続で授業を行う。

# ヒューマニズム思想史 *History of Humanism*

2 単位

大 学 名	神戸市看護大学	担 当 教 員 氏 名	松葉 祥一 教授
開 講 期 間	後期 (10/5 ~ 12/21・1/11 ~ 1/18)	開 講 曜 日・時 間	水曜日 18:15 ~ 19:45
対 象 学 年	1 年次以上	募 集 人 員	50 名 (市看護大生 40 名 / 他大学 10 名)

科 目 内 容	この授業の目標は、「人間の本性（人間性）と人間的なできごとに関心と愛情をいだき、人間の特殊性に価値と尊厳を認め、非人間的なものから擁護しようとする態度」という一般的なヒューマニズムの立場からさらに、過去の思想を参考にしながら、この一般的立場を理論化して、「(1) 人間性の内容を規定し、(2) 何から人間性を解放し、再生させるのかを探究し、(3) 主張する思想的立場」を獲得することである。そのためにわれわれは、(2) から出発して (1) を規定し、そこから (3) の主張に向かうという方針をとる。つまり、現在、人間性を抑圧・疎外していると思われる要因を探り、そこから逆に人間性とは何かを探求し、それを主張できる地点にまでいたるという道をとりたい。とくに、(3) ヒューマニズムを主張しようとする際、一方で人間中心主義だという批判にどう答えるか、他方で現実に人間性を抑圧する要因とどのように闘うのかという問題が問われることになるだろう。	
	各回内容	
	1	ヒューマニズムとは何か
	2	人間とは何か—人間観の歴史
	3	人間性とは何か
	4	宗教とヒューマニズム
	5	科学技術とヒューマニズム (1) 環境倫理学
	6	科学技術とヒューマニズム (2) 世代間倫理
	7	戦争とヒューマニズム (1) 第一次世界大戦とベルクソン
	8	戦争とヒューマニズム (1) 第一次世界大戦とベルクソン
	9	戦争とヒューマニズム (3) 国家とは何か
	10	貧困とヒューマニズム (1) グローバル化
	11	貧困とヒューマニズム (2) 国内の貧困化
	12	貧困とヒューマニズム (3) 移民・難民
	13	医療とヒューマニズム (1) 神谷美恵子の生と思想
	14	医療とヒューマニズム (2) 医療にヒューマニズムは必要か
	15	まとめ
16	レポート	

評 価 方 法：学期末試験もしくはレポート (70%)  
授業中に短いレポートを課します (30%)

教 科 書：決まったテキストは使いません。参考文献として、松葉祥一著『哲学的なもの政治的なもの』，青土社，2010年。これ以外の参考文献は講義中に提示します。

参 考 図 書：講義内で紹介します。

履 修 に あ た っ て：初回には授業概要を説明しますので必ず出席してください。

# 障害学

Disability Studies

1 単位

大 学 名	神戸市看護大学	担 当 教 員 氏 名	樫田 美雄 准教授
開 講 期 間	後期 (10/26 ~ 12/14)	開 講 曜 日 ・ 時 間	水曜日 18:15 ~ 19:45
対 象 学 年	2 年次以上	募 集 人 員	60 名程度

科 目 内 容	<p>障害（学）をめぐる諸問題の検討を通して、「(障害者との) 共生社会」の実相を理解する。後期近代社会において、「障害者」をはじめとした人間資源が、どのような視線のもとで利用されようとしているのかを「大競争社会の到来」という枠組みのもとで理解する。それらの理解をもとに、「同化主義批判」「排除と包摂」「ろう文化宣言」「日本手話と手指日本語」「触常者宣言」等のキーワードを、自分自身で活用可能な水準にまで、血肉化する(キーワードを自家菜籠中のものとしたレポートが書けるようになるということだ)。結果として、社会変動に応じて、自らの対社会的スタンスを変革できる能力を育て、20 年後に幹部看護師等の対人サービス専門職幹部になり得る力を得させる。また、社会科学の授業として、社会科学系のレポート作成能力及び、グループワーク (GW) 遂行能力をも養成する。</p>	
	各回内容	
	1	はじめに…ビデオ「IT が開く情報の扉」or「音のない世界で」を見て考える
	2	観察 (1) …“ 障害者 ” の諸宣言を見てみよう! (GW)
	3	観察 (2) …“ 障害者 ” の諸宣言を見てみよう! (承前) (GW)
	4	理論 (1) …「障害学入門」(その 1: 基本概念を理解しよう) 杉野昭博『障害学 - 理論形成と射程-』, 石川准・長瀬修編『障害学への招待』 石川・倉本編『障害学の主張』
	5	理論 (2) …「障害学入門」(その 2: 障害学の展開を把握しよう) (GW) 安積純子、尾中文哉、立岩真也、岡原正幸『生の技法—家と施設を出て暮らす 障害者の社会学』(文庫版) 北島行徳『無敵のハンディキャップ』(文庫版)
	6	思考 (1) …我々はどこまで行けるのか (その 1) (GW) 渡正『障害者スポーツの臨界点-車椅子バスケットボールの日常の実践から』 阿部他「資源としての障害パースペクティブの可能性」in『年報筑波社会学』
	7	思考 (2) …我々はどこまで行けるのか (その 2) (GW) テーマを決めて、自分で調べて書く。発表する。 意見をもらう。相互に添削をする。
8	発表会 …… 3冊以上の参考文献を参照したうえで、障害学に関して意見が言えるようになる。 特集「著作権法と大学教育における著作物利用」in『大学時報』346 号	

評 価 方 法：平常点 (40%) とレポート (60%)

教 科 書：指定しない。

参 考 図 書：石川准・長瀬修編『障害学への招待——社会、文化、ディスアビリティ』(明石書店)。  
石川准・倉本智明編『障害学の主張』(明石書店)。  
杉野昭博『障害学 - 理論形成と射程-』(東京大学出版会)。  
小川喜道・杉野昭博編著『よくわかる障害学』(ミネルヴァ書房)  
渡正『障害者スポーツの臨界点-車椅子バスケットボールの日常の実践から』(新評論)。

履 修 に あ た っ て：毎回の授業に出席すること。とりわけ初回は、授業概要とコメントシートの書き方を指導するので、必ず出席すること。内容はハードですが、得られるものは大きいはずで、志の高い学生諸君の積極的な履修を期待しています。

# 学内提供科目

科目開設大学内で履修する科目です。他大学に行くことによって、新しい発見や幅広い友人関係ができます。ぜひ他大学のキャンパスも体験してみてください。開講期間や休講取扱等については、科目開設大学の規定（程）に基づきます。

## 履修上の注意

1. 講義の期間、曜日及び時間は3月末に配布する時間割で確認をしてください。

2. 授業教室は、科目開設大学の教務関係窓口で確認をしてください。

初日は早めに行くようにしてください。

3. 履修及び試験や休講基準等については、科目開設大学の規定（程）に基づきます。

必要な規則の説明書を科目開設大学より受け取り、よく読んでおいてください。

曜日	開講時期	科目名	単位数	担当大学	担当教員	時間	掲載頁
3月末に配布する資料をご覧ください。	前期	ユニバーサルデザイン	2	神戸芸術工科大学	相良 二朗 教授		34
		アニメーション原論	2		原口 正宏 講師		35
		環境デザインとはII	2		三上 晴久 教授 花田 佳明 教授 川北 健雄 教授 藤山 哲朗 教授 山之内 誠 准教授 萬田 隆 准教授 中村 卓 助教		36
		視覚芸術基礎	2		山本 忠宏 助教		37
		アート・クラフト概論	2		戸矢崎 満雄 教授 市野 元和 教授 笹谷 晃生 教授 友定 聖雄 教授 岩田 広己 准教授 谷口 文保 准教授 さくま はな 助教 中山 玲佳 助教		38
		ファッションデザイン概論	2		野口 正孝 教授 見寺 貞子 教授 瀬能 徹 教授 ばんば まさえ 教授 松永 彩 助教 小北 光浩 助教 金沢 香恵 助教		39
		日本民俗学	2		今村 文彦 教授		40
		日本建築の歴史	2		山之内 誠 准教授		41
		イラストレーション論	2		寺門 孝之 教授 久本 直子 准教授 廣中 薫 准教授		42
		後期	英米文学・文化研究入門		2		神戸市外国語大学
	言語学入門		2	林 範彦 准教授	44		
	スポーツ文化論 1		2	竹谷 和之 教授	45		
	途上国地域社会論 1		2	大石 高志 准教授	46		
	比較社会論		2	田中 敏彦 教授	47		
	英語学概論 2		2	山口 治彦 教授 本多 啓 教授	48		
	スポーツ文化論 2		2	竹谷 和之 教授	49		
	途上国地域社会論 2		2	大石 高志 准教授	50		
	模擬国連世界大会演習		2	L.Z.Nishide 准教授	51		
	環境芸術論		2	竹田 直樹 准教授	52		
	前期	スポーツ経済論 a	2	兵庫県立大学 (神戸商科キャンパス)	伊藤 克広 准教授	53	
流通システム論		4	池田 敦 教授		54		
エコロジー・経済学		4	三俣 学 教授		55		
NPO 会計論		4	兵頭 和花子 准教授		56		
前期	都市・地域計画	2	流通科学大学	近藤 勝直 名誉教授 西井 和夫 教授 酒井 彰 教授	57		
	リゾート論	2		小久保 恵三 教授	58		
	地域交通政策	2		森津 秀夫 教授 岸野 啓一 講師	59		
前期	電気化学	2	神戸市立工業高等専門学校	安田 佳祐 講師	60		
	レーザー工学	2		熊野 智之 准教授	61		
	都市防災学	2		鳥居 宣之 教授 宇野 宏司 准教授	62		
後期	アルゴリズムとデータ構造	2		若林 茂 教授	63		
前期	神戸学	2	神戸市看護大学	藤代 節 教授	64		
	哲学	2		松葉 祥一 教授	65		
後期	言語学	2		藤代 節 教授	66		
	生活と環境	1		丹野 恵一 講師	67		

3月末に配布する資料をご覧ください。

# ユニバーサルデザイン *Universal Design*

2 単位

大 学 名	神戸芸術工科大学	担 当 教 員 氏 名	相良 二郎 教授
開 講 期 間	前期 (4/11 ~ 8/11)	開 講 曜 日 ・ 時 間	火曜日 10:40 ~ 12:10
対 象 学 年	2 年次以上	募 集 人 員	10 名程度

科 目 内 容	<p>社会の高齢化が急速に進む中、誰もが参加できる社会の構築が求められている。年齢や性別、能力の多寡、人種や文化の違いに関わらず、誰もが利用できるように最初からデザインするというユニバーサルデザイン (UD) の考え方は、多くの企業が取り組んでおり、まちづくりや社会づくりなどのコトのデザインにおいてもその考え方が当たり前のことになりつつある。</p> <p>障害に起因する生活上の問題の多くは、製品・空間・情報のデザインに原因があり、デザインで解決できる。このような取り組みは、従来は特別な人に対する特別なデザインとして取り組まれてきたが、普通のこととして取り組むことの重要性和、その方法論を多様な分野の多様な事例やビデオを通して学ぶ。</p> <p>ユニバーサルデザインの考え方を正しく理解し、デザイン活動を始めた今後の各自の取り組みに活かせるようになることを目標とする。</p>
	各回内容
	1 オリエンテーション・UD の理念
	2 米国の障害者施策と差別禁止法
	3 欧州の障害者施策と D4A Inclusive Design
	4 UD の普及・教育活動
	5 関連法規
	6 ユーザー特性
	7 超高齢社会の問題と UD
	8 建築・まちづくり
	9 交通
	10 情報・コミュニケーション
	11 住宅
	12 住宅設備
	13 家電・公共設備
	14 地球環境保全と防災・減災
15 平和と国際貢献	

評 価 方 法：定期試験で評価する。

教 科 書：特になし。

参 考 図 書：「知る、わかる、ユニヴァーサルデザイン」IAUD UD 検定中級公式テキスト

履 修 に あ た っ て：Panasonic、ToTo、コクヨ、富士通、積水ハウスなどの UD 取り組み状況を調べておく。

# アニメーション原論 *Principle of Animation*

2 単位

大 学 名	神戸芸術工科大学	担 当 教 員 氏 名	原口 正宏 (非常勤講師)
開 講 期 間	前期 (4/11 ~ 8/11)	開 講 曜 日 ・ 時 間	火曜日 13:00 ~ 16:10
対 象 学 年	1 年次以上	募 集 人 員	10 名程度

科 目 内 容	<p>百聞は一見にしかず——それがこの講座のスローガンです。古今東西のアニメーション映画の代表作を、長編を中心になるべく数多く上映していきます。100 年強にわたるアニメーション史をひも解き、決して古びない普遍的な作品を厳選して紹介していきます。まずは観ること。次に、作品が作られた歴史的背景を知ること。作者の“思い”を想像すること。技術的な試みと試行錯誤の過程を理解すること。“観る”ことは“出会う”ことです。学生の一人一人が違う個性と資質を持っているように、作品にもすべて個性がある。その出会いは皆さんに、一人一人別の感動と創作のインスピレーションを与えてくれるでしょう。前期は、日本のアニメーション史を飾る長編作品を紹介していきます。</p>		
		各回内容	
	1	日本のアニメーション制作会社の流れ	
	2	東映動画長編 その1 薮下泰司と『白蛇伝』	
	3	東映動画長編 その2 森 康二、大塚康生と『西遊記』	
	4	東映動画長編 その3 芹川有吾と『わんぱく王子の大蛇退治』	
	5	東映動画長編 その4 高畑 勲と『太陽の王子 ホルスの大冒険』	
	6	東映動画長編 その5 宮崎 駿と『長靴をはいた猫』	
	7	東映動画長編 その6 池田 宏と『どうぶつ宝島』	
	8	東映動画長編 その7 土田 勇と『龍の子太郎』	
	9	虫プロ系監督 その1 出崎 統と『エースをねらえ!』	
	10	虫プロ系監督 その2 りんたろうと『銀河鉄道 999』	
	11	虫プロ系監督 その3 杉井ギサブローと『銀河鉄道の夜』	
	12	虫プロ系監督 その4 山本暎一と『哀しみのベラドンナ』	
	13	虫プロ系監督 その5 手塚治虫と『ある街角の物語』『森の伝説』	
	14	竜の子系監督 その1 鳥海永行と『科学忍者隊ガッチャマン』	
15	竜の子系監督 その2 南家こうじが手がけたミュージックアニメーション		

**評 価 方 法**：採り上げた作家と作品について観賞レポート(感想文)を提出してもらう。講義内容を理解し、作家の特性や歴史的背景について概観できているどうかを判断し、評価の対象とする。2 週以上遅れた課題提出は認めない。出席率 80% 未満、およびレポート提出率 100% 未満は不可評価。遅刻は欠席あつかいとする。

**教 科 書**：指定しない。

**参 考 図 書**：なし

**履 修 に あ た っ て**：概ねシラバスに沿って監督と代表作品を採り上げていくので、事前に監督や作品の歴史的な位置づけなどについての下調べをしておく、観賞時の内容理解を深める一助になる。また、講義中で同じ監督の別作品について触れる機会も多いので、講義後には、それら参考作品について独自に視聴するなどして視野を広げる努力をしてもらいたい。そのことが、翌週以降の別作品の鑑賞とも有機的に関連し合い、より立体的、俯瞰的な歴史理解、作品理解につながっていく。

# 環境デザインとはⅡ *International Area Studies II*

2 単位

大 学 名	神戸芸術工科大学	担 当 教 員 氏 名	三上 晴久 教授 花田 佳明 教授 川北 健雄 教授 藤山 哲朗 教授 山之内誠 准教授 萬田 隆 准教授 中村 卓 助教
開 講 期 間	前期 (4/11 ~ 8/11)	開 講 曜 日・時 間	水曜日 9:00 ~ 10:30
対 象 学 年	1 年次以上	募 集 人 員	10 名程度

科 目 内 容	建築物や町並みは、どのような構成原理にもとづいてデザインされているのか、様々な環境デザインの実例を考察する。	
	各回内容	
	1	建築の歴史 その1: ヨーロッパ中世から近世へ
	2	建築の歴史 その2: ヨーロッパ近世から近代へ
	3	建築の歴史 その3: ヨーロッパ近代から現代へ
	4	日本建築史入門
	5	日本の歴史的な建築と町並みの保存
	6	神戸の歴史
	7	住宅の設計から完成までのプロセス
	8	住宅を通して建築の意味を考える
	9	近代建築の保存と再生について
	10	空間の構成 その1: 点・線・面
	11	空間の構成 その2: 空間の限定
	12	空間の構成 その3: 内部と外部
	13	近代の建築家・デザイナーによる室内環境のデザイン
14	アートの空間、建築の空間	
15	構造デザインと建築空間	

評 価 方 法 : 毎回のレポート提出による。

教 科 書 : 指定なし

参 考 図 書 : 各講義で、適宜参考テキスト等を紹介します。

履 修 に あ た っ て : 日頃から都市や建築に興味を持ち、図書館を活用して多くの情報に触れるようにして下さい。  
また、いろいろなところへ出かけて、実際の都市や建築を体験するようにして下さい。

# 視覚芸術基礎 *Introduction to the Visual Arts*

2 単位

大 学 名	神戸芸術工科大学	担 当 教 員 氏 名	山本 忠宏 助教
開 講 期 間	前期(4/11～8/11)	開 講 曜 日・時 間	水曜日 10:40～14:30 (隔週)
対 象 学 年	1 年次以上	募 集 人 員	10 名程度

科 目 内 容	授業目的・方針 写真、映画作品を中心に多くの作品に触れながら、これまでの視覚芸術表現の変遷を概観する。表現が変容する時、その根底には様々な要因があるということを知り、視覚認識と表現の変化がどのような相関関係にあるかを考える。
	到達目標 美術史を横断的に概観することで、専門領域外のメディアムへの基礎知識を身につけるとともに、自身の専門領域にフィードバックする回路を構築する事が目標である。
	各回内容
	1 イントロダクション
	2 視覚表現と言語表現
	3 カメラ・オブスクラ制作
	4 光学機器と遠近法
	5 絵画と写真の関係
	6 初期写真について
	7 写真の変遷1 (ストレート・フォトグラフィ、肖像写真とテプフェール)
	8 写真の変遷2 (記録の変容とロバート・フランク)
	9 写真と映画の関係
	10 初期映画について
	11 映画の変遷1 (古典的ハリウッド映画とサイレントコメディ)
	12 映画の変遷2 (ネオ・リアリズム、フィルム・ノワール、ヌーヴェル・バーグ)
13 美術の中の映像	
14 広告の中の映像	
15 まとめ	

評 価 方 法：中間レポート、最終レポート課題によって評価する。課題をすべて提出しない場合、または出席が2/3に満たない場合はE評価とする。

教 科 書：特になし。毎回レジユメを配布する。

参 考 図 書：適宜授業内で紹介する。

履 修 に あ た っ て：関西近郊で開催されている美術展や映画などを積極的に鑑賞し、他領域への関心を持つことを心がけるように。

# アート・クラフト概論 *Introduction to Arts・Crafts Introduction to the Visual Arts* 2単位

大 学 名	神戸芸術工科大学	担 当 教 員 氏 名	戸矢崎 満雄 教授 市野 元和 教授 笹谷 晃生 教授 友定 聖雄 教授 岩田 広己 准教授 谷口 文保 准教授 さくま はな 助教 中山 玲佳 助教
開 講 期 間	前期 (4/11 ~ 8/11)	開 講 曜 日・時 間	木曜日 10:40 ~ 16:10
対 象 学 年	1年次以上	募 集 人 員	10名程度

科 目 内 容	アートとはなにか? クラフトとは何か? という問いかけに対し、各領域の歴史や理論を背景に造形、表現、伝統、地域、交流などの基本的な要素について学習する。また、各教員の研究分野について認知し、各自の専門分野へ至る経路を見いだすことを目標とする。		
	各回内容		
	1	イントロダクション	花の絵 (戸矢崎)
	2	素材と技法 1	絵画で描くもの (中山)
	3	素材と技法 2	陶芸のこころ (市野)
	4	素材と技法 3	ガラスのひかり (友定)
	5	素材と技法 4	アートと社会 (さくま)
	6	素材と技法 5	彫刻のひろがり (笹谷)
	7	素材と技法 6	メタルワークス (岩田)
	8	素材と技法 7	アートプロジェクト (谷口)
	9	素材と技法 8	アートとコレクション (戸矢崎)
	10	造形と表現 1	なぜ絵を描くのか? (中山)
	11	造形と表現 2	ものづくりとは? (市野)
	12	造形と表現 3	社会とつながるには? (谷口)
	13	造形と表現 4	フィギュアの行方? (笹谷)
	14	造形と表現 5	ジュエリーのかたち? (岩田)
15	造形と表現 6	今日の工芸とは? (友定)	

評 価 方 法 : 4つの〈ミニ・レポート〉による授業の理解度と授業態度を総合評価する。

教 科 書 : プリントの配布もしくは適時指示する。

参 考 図 書 : 博物館、美術館での美術・工芸史に残る名品をできるだけ見に行くよう努めること。

履 修 に あ た っ て : 毎回の授業に出席すること。特に初回は授業概要を説明するので必ず出席すること。講義中は私語を慎み他の受講生の迷惑にならないようにすること。

# ファッションデザイン概論

Introduction to Fashion Design

2 単位

大 学 名	神戸芸術工科大学	担 当 教 員 氏 名	野口 正孝 教授 見寺 貞子 教授 瀬能 徹 教授 ばんば まさえ 教授 松永 彩 助教 小北 光浩 助教 金沢 香恵 助教
開 講 期 間	前期 (4/11 ~ 8/11)	開 講 曜 日・時 間	金曜日 10:40 ~ 12:10
対 象 学 年	1 年次以上	募 集 人 員	10 名程度

科 目 内 容	過去から現在まで、時代と共に様々なファッションが存在します。ファッションとは第二の皮膚と言われるように、私たちの身体と気持ちを常に覆っている身近なものであると同時に、時代を映し出す鏡でもあります。本講では、これからのファッションデザインのあり方を、テキスタイル・ファッションデザイン・ファッション企画の各専門分野の観点から探ります。	
	各回内容	
	1	ファッションとはなにか?… 今日のファッションは何を感じているのか?
	2	着物…日本の文様と染織
	3	藍…インディゴ・ブルー
	4	ウール素材の加工…フェルト加工とその技法
	5	テキスタイル IN ファッションアクセサリ～汎用品からアートまで～
	6	ファッションデザインの広がり 1…Isn't it fashion?
	7	ファッションデザインの広がり 2…In and Out
	8	具現化されるイメージ 1… グラフィックイメージとしての身体表現
	9	具現化されるイメージ 2… イメージ世界からのファッションデザイン
	10	メディアとしてのファッション… ジーンズと T シャツ
	11	表層としてのファッション
	12	地域社会と共存する…産官学民連携デザイン
	13	誰にとっても良いデザイン…ユニバーサルファッション
	14	市場動向「トレンドを増幅するファストファッション」
15	販売計画「ネット社会とファッション」	

評 価 方 法：毎回のアンケート形式による小レポートと授業態度を評価する。

教 科 書：毎回資料プリントを配布する。

参 考 図 書：授業内で指示する。

履 修 に あ た っ て：授業に臨むにあたり特別な準備は必要ないが、毎回のプリントを参考に、興味を持った点や疑問点を自ら調べる習慣をつけよう。

# 日本民俗学

2 単位

大 学 名	神戸芸術工科大学	担 当 教 員 氏 名	今村 文彦 教授
開 講 期 間	前期 (4/11 ~ 8/11)	開 講 曜 日・時 間	火曜日 9:00 ~ 12:10
対 象 学 年	1 年次以上	募 集 人 員	若干名

科 目 内 容	日本民俗学は日本の伝統文化を対象として日本人の生活について解明しようとする学問である。古くから伝えられてきた多くの伝統が過疎化、高齢化の中で危機にさらされている現代にあって、日本民俗学が蓄積してきた伝統文化に関する膨大な伝承や知識、技術等が重要性を増している。現代という視座から、年中行事、口承伝承、信仰生活、社会伝承などの伝統文化の具体相を取りあげ、解説する。さらに現代社会で特徴的な「伝統の創造」という事象にも目を向け、メディアの中でイメージとして消費される「日本」との関係についても言及する。	
	各回内容	
	1	日本民俗学とはなにか - 対象と視点
	2	民俗学の成立と柳田国男
	3	民俗学の成立と柳田国男 遠野物語を読む (1) - 山の里
	4	遠野物語を読む (2)- ザシキワラシと山人
	5	年中行事と民俗 (1)- 農村
	6	年中行事と民俗 (2)- 都市
	7	祭りと祭礼
	8	通過儀礼の諸相 - 人生を彩る行事
	9	芸能の民俗 - 踊りと遊び
	10	漂泊と定住 - さすらいの人びと
	11	神と靈魂
	12	男と女
	13	都市化と伝承の危機
14	現代と民俗 - 創造される民俗	
15	まとめ	

評 価 方 法：業時に課す小レポート、適宜に課す課題レポートを総合的に評価する。

教 科 書：特になし。

参 考 図 書：特になし。

履 修 に あ た っ て：日頃から日本の伝統的なものや行事に関心を向けておくこと。

# 日本建築の歴史 *History of Japanese Architecture*

2 単位

大 学 名	神戸芸術工科大学	担 当 教 員 氏 名	山之内 誠 准教授
開 講 期 間	後期 (9/16 ~ 1/31)	開 講 曜 日 ・ 時 間	火曜日 10:40 ~ 12:10
対 象 学 年	2 年次以上	募 集 人 員	10 名程度

科 目 内 容	日本の歴史的な建築や町並みの基礎的な特徴を学び、それらの成り立ちと変遷について理解を深める。		
	各回内容		
	1	日本建築の基本構成とその名称	
	2	飛鳥・奈良時代の建築	
	3	古代の都城計画と宮殿建築	
	4	建築構造・意匠の日本的発展過程	
	5	神社の成立とその形式	
	6	密教建築と浄土教建築	
	7	大仏様と禅宗様—新様式の輸入と展開	
	8	寝殿造の成立—上層住宅の変遷 1	
	9	寝殿造から書院造へ—上層住宅の変遷 2	
	10	近世城下町と武家住宅	
	11	近世寺社建築の展開	
	12	草庵風建築の誕生と展開	
	13	洋風建築の出現と日本人建築家の誕生	
14	様式への習熟と近代建築運動		
15	レポート講評及び理解度確認テスト		

評 価 方 法：レポート 20%、理解度確認テスト 80%

教 科 書：「日本建築史図集」彰国社

参 考 図 書：「日本建築史」(建築学の基礎 6)  
「カラー版 建築と都市の歴史」井上書院  
「コンパクト版建築史【日本・西洋】」彰国社、「カラー版 図説建築の歴史」学芸出版社

履 修 に あ た っ て：特になし。

# イラストレーション論 *Theoretical Studies of Illustration and Drawing*

2 単位

大 学 名	神戸芸術工科大学	担 当 教 員 氏 名	寺門 孝之 教授 廣中 薫 助教 久本 直子 教授
開 講 期 間	後期 (9/22 ~ 12/22 ・ 1/5 ~ 1/12)	開 講 曜 日 ・ 時 間	木曜日 10:40 ~ 12:10
対 象 学 年	1 年次以上	募 集 人 員	10 名程度

科 目 内 容	現在の日本におけるイラストレーションの諸傾向について、その多様性を紹介しつつ、歴史的な基盤を探っていく。毎回テーマを定めて具体例を画像、映像あるいは現物資料により確認しながら進めていく。また、絵本についても主としてイラストレーションの視点から観察する。さらには、職業としてのイラストレーターについて現状を知るとともに、その可能性を探る。イラストレーションは身の周りにあまた存在するため、常日頃から意識し、その描き手について調べる習慣を奨励する。	
	各回内容	
	1	イラストレーション概論
	2	物語とイラストレーション / 不思議の国のアリス
	3	不可視の可視化① / 妖精
	4	不可視の可視化② / 妖怪
	5	日本のイラストレーションの基盤 / 浮世絵
	6	眼の表現の多様性と時代的変遷
	7	イラストレーションと自由 / グラフィティ
	8	アートとイラストレーション
	9	イラストレーションとマーケット
	10	不可視の可視化③ / 龍
	11	デザイン文化 -表現と技術-
	12	かたちと色の作用① / 色彩の基本・色彩心理学と風水
	13	かたちと色の作用② / 図像・模様・幾何学
	14	絵の効用 / 鯨絵
15	神戸とイラストレーション	

**評 価 方 法**：授業時に課す小レポート、適宜に課す課題レポートを総合的に評価する。毎回課するレポート、及びイラストレーションの収集物の提出を総合的に評価する。

**教 科 書**：適宜紹介する。

**参 考 図 書**：適宜紹介する。

**履 修 に あ た っ て**：イラストレーションは日常のあらゆる局面で目にするものである。日頃から関心を持ち、その収集・調査を怠らないでいることを推奨する。

# 英米文学・文化研究入門 *Introduction to Anglo/American Literature and Culture* 2単位

大 学 名	神戸市外国語大学	担 当 教 員 氏 名	光永 雅明 教授
開 講 期 間	前期 (4/12～8/2)	開 講 曜 日・時 間	火曜日 16:05～17:35
対 象 学 年	履修年は特に定めませんが、 「履修に当たって」を参照のこと。	募 集 人 員	募集人数は特に定めない

科 目 内 容	<p>&lt;リレー講義 英米文学・文化と「音・音楽」&gt; Relay Lectures on "Sound and Music"</p> <p>英米学科の文学文化系教員がリレー形式で行う入門講義です。各講師が、それぞれの専門領域から、英米文学・文化研究の醍醐味と研究の基本的な形を、わかりやすく解説します。</p> <p>本年度のテーマは、「音・音楽」です。様々な音や音楽は、たとえば、詩や小説でどのように描かれ、演劇や儀式でいかに用いられてきたのでしょうか。また他方、音楽は何を表象し、広く社会のなかでどのような意義を有していたのでしょうか。本講義では具体的な作品や事象をもとに、これらの問いを検討してゆきます。</p>		
	各回内容		
	1	イントロダクション (御輿哲也教授)	
	2	聞こえる声と聞こえない声 (御輿哲也教授)	
	3	シェイクスピア演劇における音楽 (エグリントンみか准教授)	
	4	英詩と讃美歌 (西川健誠教授)	
	5	音を見る、映像を聴く—ワーズワスの描いた湖水地方 (吉川朗子教授)	
	6	The Atomic Bomb and Nuclear Representations in Popular Music (松永京子准教授)	
	7	Michael Jackson, 'Billie Jean', and the Rise of Music Videos (Matthew Theado 准教授)	
	8	レポート作成	
	9	クリスマスの音—ディケンズと聴覚 (新野緑教授)	
	10	Insect Music—Lafcadio Hearn の聞いた日本の音 (難波江仁美教授)	
	11	音楽から沈黙へ—ロンドンの記念碑設立における音の経験 (光永雅明教授)	
	12	イギリス「人類教」の儀式における音と音楽 (光永雅明教授)	
	13	Lorenzo's "Sweet music" in <i>The Merchant of Venice</i> (Henry Atmore 准教授)	
	14	Poetry, Sound, and Music (David Farrah 教授)	
15	レポート作成		

評 価 方 法：前半・後半各一回ずつレポートを提出。その総合点で評価する。

教 科 書：各講師がプリントを配布する。

参 考 図 書：特に指定せず、各講義内で紹介する。

履 修 に あ た っ て：入門講義なので、特に1,2年生に履修してもらいたい。

さまざまな講義を聴き比べることがリレー講義の狙いなので、毎回出席を心がけること。

なお、都合により講師や講義の順番が変更される場合もある。

# 言語学入門 *Introduction to Linguistics*

2 単位

大 学 名	神戸市外国語大学	担 当 教 員 氏 名	林 範 彦 准 教 授
開 講 期 間	前期 (4/7 ~ 7/28)	開 講 曜 日 ・ 時 間	木曜日 16:05 ~ 17:35
対 象 学 年	全学年	募 集 人 員	50 名程度 (神戸市外国語大学の学生は制限がありません)

科 目 内 容	<p>普段私たちはことばを使ってコミュニケーションをとります。何気なく使っていることばも時には相手に伝わらなかったり、いろんな意味があることに気づいたりすることもあるでしょう。また同じ意味だと思いの、違う形の語彙に出くわしたりすることもあると思います。語学学習の際、日本語にはない音がたくさんあって驚いたこともあるでしょう。言語学はこのようなことばに関する様々な問題に対して科学的研究を進める学問です。この講義では言語学の基礎をいろんな角度から楽しみながら学んでいきます。そしてコース修了時には (1) 言語研究をもっと進めたい、(2) 語学学習がはかどる、(3) 他の隣接諸分野とつなげて学習したいなどの効果を目指します。</p>		
	各回内容		
	1	イントロダクション: この授業で目指すこととは	Introduction
	2	「犬語」と人間のことばの違い: 言語の一般的特徴	General Features of Human Language
	3	「-る」の可能性と未来: 形態論	Words, Morphology
	4	「さむい」と「さぶい»: 音声学	Sounds, Phonetics
	5	百万回の「た»: 音韻論	Sounds, Phonology
	6	「骨」と「肉」の問題: 統語論の基礎	Sentences, Syntax
	7	フランス育ちの花子の言葉: 統語論・生成文法	Sentences, Syntax, Generative Grammar
	8	「今ちょっと手が足りない»: 語の意味論	Word Meaning, Lexical Semantics
	9	「ちょっとそこまで…」: 文の意味論・語用論	Sentential Meaning, Pragmatics
	10	進度調整	Adjustment
	11	ことばのタイプ: 類型論	Typology
	12	「右」と「東」、「上」と「北»: 言語と文化・消滅の危機にひんする言語	Language and Culture, Endangered Languages
	13	「ほかす」と「なおす」、「無愛想」と「塩対応»: 社会言語学	Language and Society, Sociolinguistics
	14	「笛をいとをかしく吹き澄まして»: 歴史言語学	Language and History, Historical Linguistics
15	まとめと試験	Summary and Exam	

評 価 方 法 : 期末試験 (90% 以上) および出席・授業態度等 (10% 以下) で評価する。

教 科 書 : 使用しません。ハンドアウトを使用します。また参考図書や資料などは授業中随時紹介します。

参 考 図 書 : 授業時に紹介します。

履 修 に あ た っ て : どの授業でもそうだと思いますが、積み重ねが大事ですので、できるだけ授業を休まないでください。休むとその後の回の授業理解度は極端に落ちます。他の人の迷惑になりますので、私語は謹んでください。あと、携帯電話やスマートフォンなどの電子機器は授業中必要ないので、鞆の中に入れておいてください。

黒板やスクリーンなどの写真をとる行為も認めません。録音・録画などの行為も認めません。

ライブをお楽しみ下さい!

# スポーツ文化論 1 *Sport Culture1*

2 単位

大 学 名	神戸市外国語大学	担 当 教 員 氏 名	竹谷 和之 教授
開 講 期 間	前期 (4/8 ~ 7/29)	開 講 曜 日 ・ 時 間	金曜日 12:45 ~ 14:15
対 象 学 年	2 年次以上	募 集 人 員	20 名程度

科 目 内 容	<p>フェア・プレイ、スポーツマンシップなどを前提とする「近代スポーツ」が、西洋のイデオロギーや価値観で形成されたものであり、それが日本に導入され流行しているとしたら…。単なる技術・戦術や勝敗だけでスポーツを語るのではなく、文化として「sport」を捉え、その多様性を伝統スポーツに求め考える授業です。前期は伝統スポーツ、後期は近代スポーツからアプローチされる。</p> <p>The History and Anthropology of Sport An Introduction</p>		
	各回内容		
	1	オリエンテーション - 概略	
	2	日本の伝統スポーツ - 相撲	
	3	稲作民のスポーツ - 綱引	
	4	稲作民のスポーツ - 綱引 - ポートレース	
	5	モンゴル国遊牧民の「魂の3つの競技」	
	6		
	7	アフリカ・コートジボワールのレスリング	
	8	スペインバスク民族のスポーツ - 労働から	
	9	スペインバスク民族のスポーツ - 宗教から	
	10	イタリア・シエナの競馬	
	11	ワールド・エスキモー & インディアン・オリンピック (WEIO)	
	12	北アメリカのカヌーと民族	
	13	南米アンデスの闘牛	
	14	まとめ 1 (討論)	
15	まとめ 2 (討論)		

評 価 方 法 : 毎回のレスポンスカード及び筆記試験

教 科 書 : 配布プリント

参 考 図 書 : 中村・高橋・寒川・友添編『21世紀スポーツ大事典』大修館書店 2014年  
 今福龍太著『ブラジルのホモ・ルーデンス』月曜社 2008年  
 稲垣・今福・西谷著『近代スポーツのミッションは終わったか-身体・メディア・世界』平凡社 2009年  
 竹谷和之編著『ジャック・マイヨールの遺産』、叢文社、2007年  
 竹谷和之編著『<スポーツする身体>とはなにか-バスクへの問い・PART.1.』叢文社 2010年  
 寒川恒夫編『教養としてのスポーツ人類学』大修館書店 2004年  
 寒川恒夫『遊びの歴史民族学』明和出版 2003年  
 大林他編『民族遊戯大事典』大修館書店 1998年

履 修 に あ た っ て : 従来の「スポーツ」概念から抜け出る工夫を心掛けること

# 途上国地域社会論 1 *Developing World 1*

2 単位

大 学 名	神戸市外国語大学	担 当 教 員 氏 名	大石 高志 准教授
開 講 期 間	前期 (4/8 ~ 7/29)	開 講 曜 日・時 間	金曜日 14:25 ~ 15:55
対 象 学 年	全学年	募 集 人 員	教室収容可能な人数

科 目 内 容	前期：「途上国」もしくは「新興国」の地域に見られる社会・経済上の諸問題を、政治や文化、宗教の諸要素との必然的関連のなかで、総合的に紹介していく。特に、「貧困」問題や「貧困層」、そして社会的に周辺化された人々の存在を念頭において、途上国地域における社会的な諸問題や矛盾を概観する。また、こうした諸問題の前提になっている植民地支配期以降の社会構造の変化にも、焦点を当てる。教員が研究上の専門とする南アジア（インドやパキスタンなど）やインド洋周辺諸国の文脈や事例が多くなるが、他の諸地域の事例も、出来るだけ具体的に紹介する。下記のような大まかな流れに準じる予定。		
	各回内容		
	1	植民地体制と途上国地域の現在：「ポスト・コロニアル」	
	2		
	3	プランテーションの歴史的展開：南アジア（インド）の茶園世界の現在	
	4		
	5	マレー半島における複合社会の形成：ゴム経済と広域移民（華僑と印僑）	
	6		
	7	サトウキビ経済と島嶼植民地の変容：カリブ海地域と環インド洋世界の過去と現在	
	8		
	9	インドにおける綿紡績業：残存、勃興、黄昏	
	10		
	11	現代の経済発展と都市化の「影」：貧困とスラム	
	12		
	13	インフォーマル・セクター（児童労働）	
14			
15	予備日もしくは試験		

評 価 方 法：前期と後期のそれぞれの期末もしくは試験期間に、1 回ずつの試験。持ち込み不可。

教 科 書：なし。ほぼ毎回の講義で、資料等を配布する。

参 考 図 書：特になし。

履 修 に あ た っ て：出席は採らないが、教科書は指定せずに資料を配布しながら講義を進行する予定なので、聴講が不可欠な意味をもつ。配布資料は、基本的に、前回の講義時の配布分まで提供する。

# 比較社会論 *Comparative Study of Societies 1*

2 単位

大 学 名	神戸市外国語大学	担 当 教 員 氏 名	田中 敏彦 教授
開 講 期 間	前期 (4/7 ~ 7/28)	開 講 曜 日 ・ 時 間	木曜日 16:05 ~ 17:35
対 象 学 年	全学年	募 集 人 員	10 名程度

科 目 内 容	比較社会論とは、原始社会・文明社会・近代社会という様々な社会類型を比較することによって、今われわれが生きている現代社会がいかなる社会であるかを考察し、さらに来るべき未来社会を構想することを目指す学問であり、「我々はどこから来たか?我々は何ものか?我々はどこへ行くのか?」という問いに答えるための、我々が現在手にしうるもっとも包括的な学問的枠組みです。 現在は混迷の時代でとりわけ「我々はどこに行くのか?」という問いには容易にこたえることはできないが、比較社会論はある程度未来社会の輪郭を描くことを可能にしてくれる学問です。		
	各回内容		
	1	比較社会論とは何か…導入部	
	2	「アバター」の比較社会論的考察①…米国における前近代社会と近・現代社会の激突	
	3	「アバター」の比較社会論的考察②…「インディアンは必ず勝つ」の意味すること	
	4	前近代社会と近代社会①…宇宙形式の比較 「インディアンは花をおらない」	
	5	前近代社会と近代社会②…時間の比較 「現在する過去」と「過去する現在」	
	6	前近代社会と近代社会③…空間の比較 「聖なる木は倒れた」	
	7	近代社会の光と影① 『モモ』の比較社会論的分析	
	8	近代社会の光と影② Time is money と Time is life	
	9	近代社会の光と影③ 近代的時間の起源	
	10	近代社会と現代社会① 生産から消費へ	
	11	近代社会と現代社会② 消費化・情報化社会論	
	12	近代社会と現代社会③ 規律社会から管理社会へ	
	13	現代社会と未来社会① 米国論	
	14	現代社会と未来社会② 日米関係論	
15	未来社会への展望	国際情勢と日本の将来	

評 価 方 法：学期末のレポートと、毎回提出してもらい意見・感想・質問カードとを基に、総合的に評価します。

教 科 書：なし。

参 考 図 書：見田宗介『社会学入門』・『現代社会の理論』（両方とも岩波新書）

履 修 に あ た っ て：特にありません。

# 英語学概論 2 *Introduction to Studies in English 2*

2 単位

大 学 名	神戸市外国語大学	担 当 教 員 氏 名	山口 治彦 教授 本多 啓 教授
開 講 期 間	後期 (9/27 ~ 12/13・1/17 ~ 2/10)	開 講 曜 日・時 間	火曜日 14:25 ~ 15:55
対 象 学 年	1 ~ 4 年	募 集 人 員	10 名程度

科 目 内 容	<p>英語学概論とは、英語を研究する学問としての英語学の各分野を大まかに見通すことで、「英語とはどのような言語か」「英語学とはどういう学問か」ということについての全体像を作ることを目標とした、入門的な授業です。「英語学概論 1」「英語学概論 2」に分けて隔年開講され、2年間受講することで内容が完結します。</p> <p>2016 年度開講の「英語学概論 2」は、英語学の諸分野のうち、言葉の意味という観点から英語の特徴を考える意味論、実際のコミュニケーションの現場における言葉の働きという観点から英語の特徴を明らかにする語用論を中心とした内容になります。</p> <p>This is an introductory course on English linguistics. This year we will talk about semantics (the study of linguistic meaning) and pragmatics (the study of language use in communicative contexts).</p>	
	各回内容	
	1	授業案内。英語学についての全体的な解説
	2	意味論 (1) 意味とは何 (でない) か --- 認知意味論の立場から ---
	3	意味論 (2) 多義
	4	意味論 (3) 日常言語の中の比喻
	5	意味論 (4) 英語の法助動詞
	6	意味論 (5) メタファーなどから考える英語の句動詞などの多義性
	7	意味論 (6) 認知意味論は何を目指す学問か
	8	中間試験
	9	語用論 (1): ことばとコンテクストの親密な関係
	10	語用論 (2): 推論を生む指針 (協調原則と会話の格率)
	11	語用論 (3): ふまじめなことば (ジョークと会話の格率)
	12	談話分析 (1): 翻訳が映す社会の姿 [1] (英語になった manga と anime)
	13	談話分析 (2): 翻訳が映す社会の姿 [2] (manga におけるオノマトペの翻訳)
	14	談話分析 (3): 翻訳が映す社会の姿 [3] (『NARUTO』の性的・暴力的表現)
15	まとめ: 言語学の地図とコンパス	
16	期末試験	

評 価 方 法 : 毎回の出席状況と、各担当教員の課す課題 (中間・期末試験またはレポート) によります。

教 科 書 : 資料を配布しますので、教科書は使用しません。

参 考 図 書 : 授業時に紹介します。

履 修 に あ た っ て : 途中で休むと次回以降の授業を理解することが難しくなる場合がありますので、できるだけ欠席することなく毎回出席してください。

# スポーツ文化論 2 *Sport Culture 2*

2 単位

大 学 名	神戸市外国語大学	担 当 教 員 氏 名	竹谷 和之 教授
開 講 期 間	後期 (9/30 ~ 12/16・1/6 ~ 2/10)	開 講 曜 日・時 間	金曜日 12:45 ~ 14:15
対 象 学 年	2 年次以上	募 集 人 員	20 名程度

科 目 内 容	主題: 近代スポーツのミッションをさぐる Study of the mission of Modern sport .	
	各回内容	
	1	オリエンテーション - 概略
	2	問題の所在
	3	「スポーツから <世界> を語り合う」
	4	
	5	「オリンピックから <世界> を語り合う」
	6	
	7	「インターリユード 身体の贈与経済」
	8	「21 世紀の身体」を考える」
	9	
	10	グローバリゼーションとスポーツ文化
	11	「エピローグ 北京オリンピック、祭りの後で」
	12	
	13	まとめ 1
14	ゲストスピーカーの授業 (未定)	
15	まとめ 2	

評 価 方 法 : 毎回のレスポンスカード及び筆記試験

教 科 書 : 稲垣・今福・西谷著『近代スポーツのミッションは終わったか-身体・メディア・世界』平凡社  
2009 年 ISBN978-4-582-83427-7 C0075

参 考 図 書 : 中村・高橋・寒川・友添編『21 世紀スポーツ大事典』大修館書店 2014 年  
今福龍太『ブラジルのホモ・ルーデンス』月曜社 2008 年 ISBN978-4-901477-43-7 C0010  
竹谷和之編著『ジャック・マイヨールの遺産』叢文社 2007 年 ISBN978-4-7947-0582-2  
竹谷和之編著『<スポーツする身体> とはなにかーバスケットへの問い・PART1.』叢文社 2010 年  
桜井万里子・橋場弦編『古代オリンピック』岩波新書 2004 年 ISBN4-00-430901-8  
楠見千鶴子『ギリシアの古代オリンピック』講談社 2004 年  
ジョン・J・マカルーン著 柴田・菅原訳『オリンピックと近代 評伝クーベルタン』平凡社 1988 年  
ISBN4-582-82366-1 C0075  
寒川恒夫編『教養としてのスポーツ人類学』大修館書店 2004 年 ISBN4-469-26552-7  
寒川恒夫『遊びの歴史民族学』明和出版 2003 年 ISBN4-901933-02-7  
大林他編『民族遊戯大事典』大修館書店 1998 年 ISBN4-469-01260-2 C3539

履 修 に あ た っ て : リオ・デ・ジャネイロ・オリンピックを視野に入れておくこと。

# 途上国地域社会論 2 *Developing World 2*

2 単位

大 学 名	神戸市外国語大学	担 当 教 員 氏 名	大石 高志 准教授
開 講 期 間	後期 (9/30 ~ 12/16・1/6 ~ 2/10)	開 講 曜 日・時 間	金曜日 14:25 ~ 15:55
対 象 学 年	全学年	募 集 人 員	教室収容可能な人数

科 目 内 容	<p>「ムスリム社会論」的な内容とする。とくに、ムスリムが居住する地域、もしくは、ムスリムが多数派となっている国家を取り上げ、当該社会のなかでイスラームが持つ多義的で曖昧性を孕む意味を、生活レベルから国際政治的なレベルまで扱う。マスメディア等では「テロ」や暴力との関連で取り上げられることの多いイスラームやムスリムの人々が住む社会を、信仰表現などの個人的な文脈から、都市社会や国家というマクロなあり方まで、できるだけ内側から紹介する。また、可能な限り、現地での映像や写真など、視聴覚教材を取り入れる。</p> <p>下記のような大まかな流れに準じる予定。担当教員が研究上の専門とする南アジアの文脈や事例の紹介が多くなるが、他地域の事例も踏まえる予定。</p>	
	各回内容	
	1	アルジェリア・ガスプラント爆破事件とその歴史社会的背景
	2	
	3	「ムスリム社会論」
	4	マレー世界のイスラーム化とその現在
	5	
	6	
	7	法規範（シャリーア）の厳格化：近現代の南アジアでの文脈
	8	
	9	現代のアラブ湾岸諸国
	10	
	11	神秘主義（スーフィズム）：南アジアと中央アジア
	12	
	13	「イスラーム都市」：南アジアほか
14		
15	予備日もしくは試験	

評 価 方 法：前期と後期のそれぞれの期末もしくは試験期間に、1回ずつの試験。持ち込み不可。

教 科 書：なし。ほぼ毎回の講義で、資料等を配布する。

参 考 図 書：特になし。

履 修 に あ た っ て：出席は採らないが、教科書は指定せずに資料を配布しながら講義を進行する予定なので、聴講が不可欠な意味をもつ。配布資料は、基本的に、前回の講義時の配布分まで提供する。

# 模擬国連世界大会演習 *Studies in Model United Nations*

2 単位

大 学 名	Kobe City University of Foreign Studies	担 当 教 員 氏 名	L.Z.Nishide 准教授
開 講 期 間	The second semester	開 講 曜 日・時 間	Outlined Below
対 象 学 年	All university students in any department or year can participate.	募 集 人 員	24 Students (Unity students and students from other universities)

科 目 内 容	<p>In November 2016, students in the class will join the World National Model United Nations (NMUN) Japan in Kobe.                  On July 9, there will be an orientation that everyone registered in the class must attend.                  UN committees, agendas, partners, and materials will be given to the students.                  Students will be given research assignments that must be completed by the first class on September 24.</p>		
	各回内容		
	1	Rules of Procedure, Agenda & Country Background (1)	(9/24 (Saturday))
	2	Rules of Procedure, Agenda & Country Background (2)	(9/24 (Saturday))
	3	Position Paper Presentations (1)	(10/15 (Saturday))
	4	Position Paper Presentations (2)	(10/15 (Saturday))
	5	Working Papers, Speech Making (1)	(10/22 (Saturday))
	6	Working Papers, Speech Making (2)	(10/22 (Saturday))
	7	Simulation, Strategy Planning (1)	(11/12 (Saturday))
	8	Simulation, Strategy Planning (2)	(11/12 (Saturday))
	9	NMUN Conference Day 1	(11/23 (Wednesday) ~ 11/26 (Saturday))
	10	NMUN Conference Day 2	(11/23 (Wednesday) ~ 11/26 (Saturday))
	11	NMUN Conference Day 3	(11/23 (Wednesday) ~ 11/26 (Saturday))
	12	NMUN Conference Day 4	(11/23 (Wednesday) ~ 11/26 (Saturday))
	13	NMUN Conference Day 5	(11/23 (Wednesday) ~ 11/26 (Saturday))
14	Debriefing	(12/3 (Saturday))	
15	Debriefing	(12/3 (Saturday))	

評 価 方 法 : 50 % of the course work will be on MUN preparation, and 50% will be on the simulation and debriefing.

教 科 書 : None

参 考 図 書 : Materials will be provided

履 修 に あ た っ て : ① Fees

The conference participation fee is 50,000 yen that covers participation fees, accommodation, and some meals. Without accommodation the participation fee is 20,000 yen. After Saturday 9/24, conference fees cannot be refunded.

There are no class fees.

② Participation Requirements

The language of the conference is English and students must be able to negotiate and write about United Nations topics.

A minimum English proficiency level is required for non-native speakers.

(1) English Proficiency Levels

TOEIC 720 or higher, CEFR C or higher, IELTS 6.5 or higher  
 (Students from many countries will be participating)

(2) There will be an English interview for all the applicants.

Interview: May (Date TBD)

(Students from Kobe City College of Technology in the 4th year and higher are only allowed to apply.)

③ Date & Time

9/24(Sat) to 11/12(Sat) 8:50 ~ 12:00

11/23(Wed) to 11/25(Fri) 9:00 ~ 22:00

11/26(Sat) 9:30 ~ 16:30

12/3(Sat) 8:50 ~ 12:00

# 環境芸術論 *Environmental art*

2 単位

大 学 名	兵庫県立大学	担 当 教 員 氏 名	竹田 直樹 准教授
開 講 期 間	前期 (4/7 ~ 8/2)	開 講 曜 日・時 間	木曜日 09:00 ~ 10:30
対 象 学 年	1 年次以上	募 集 人 員	300 名程度

科 目 内 容	<p>日常生活の中で接する公共的な都市空間に存在する芸術作品の歴史、内容、社会的性質について学ぶことを目的とする。芸術と環境の関係性や芸術の社会性について理解した上で、自らにとっての芸術の価値について考える。これにより、芸術の受容能力を高めることを到達目標とする。</p> <p>本科目は、公共的な都市空間に存在する芸術作品に関わるものであるが、主に日本の状況に焦点をあてる。江戸時代から現代までの状況について、多数の写真資料を用いつつ解説する。その骨格は、石仏や銅像、「平和の像」、パブリックアート、アートプロジェクト、アニメなどのサブカルチャーコンテンツについてである。</p>		
	各回内容		
	1	ガイダンス 本講義の目標や概要を説明する。	
	2	江戸時代以前の石仏 (3 まで、テキスト序)	
	3	明治から第二次世界大戦までの銅像	
	4	1950 年代の「平和の像」(テキスト第 1 章)	
	5	1960 年代のパブリックアートの始まり (8 まで、テキスト第 2 章)	
	6	1970 年代から 90 年代にかけてのパブリックアートの展開	
	7	アメリカ合衆国のパブリックアート	
	8	アートディレクターによるパブリックアートプロジェクト	
	9	1990 年代のアートプロジェクトの始まり (12 まで、テキスト第 3 章)	
	10	2000 年代以降のアートプロジェクトの展開 (その 1)	
	11	2000 年代以降のアートプロジェクトの展開 (その 2)	
	12	2000 年代以降のアートプロジェクトの展開 (その 3)	
	13	1990 年代以降のアニメなどサブカルチャーコンテンツの都市空間への進出-「アニメの像」(14 まで、テキスト第 4 章)	
	14	「ガンダム建築」「トトロの森」などについて	
15	「聖地巡礼」などの社会現象について-サブカルチャーの社会性		
16	試験		

評 価 方 法 : 出席状況 20%、定期試験 60%、予習・復習など総合的な学習状況 20% を基準とする。

教 科 書 : 『アニメの像 vs. アートプロジェクト-まちとアートの関係史』公人の友社 (生協等で購入する)。

参 考 図 書 : 講義内で紹介する。

履 修 に あ た っ て : テキストに沿って授業を行うので、毎回、予習と復習を行うこと。予習と復習のあり方については、授業中に指示する。

# スポーツ経済論 a *Sports Economics a*

2 単位

大 学 名	兵庫県立大学	担 当 教 員 氏 名	伊藤 克広 准教授
開 講 期 間	前期 (4/7 ~ 8/2)	開 講 曜 日 ・ 時 間	金曜日 2 限 10:40 ~ 12:10
対 象 学 年	2 年次以上	募 集 人 員	本学学生以外に 5 名程度

科 目 内 容	<p>2011 年 8 月「スポーツ基本法」が施行され、2012 年 3 月には「スポーツ基本計画」が発表され、わが国の新たなスポーツ推進の幕が切って落とされたといえる。加えて、2019 年ラグビー・ワールドカップ、2020 年東京オリンピック・パラリンピック、2021 年関西ワールド・マスターズ・ゲームス、というメガ・スポーツ・イベントの開催が決定している。これまでのわが国ではこれほどまでにスポーツに対して関心が集中することはなかった。このようなスポーツを取り巻く状況は、今後の日本のスポーツ界のみならず社会、経済、政治、生活に対してさまざまな影響を与えていくことが推察され、日本社会の転換点となるであろう。</p> <p>また、スポーツは世界中のどこでも、誰とでも、いつでも行うことができることから「国際共通語」、「世界共通文化」と言われ、グローバル社会においては必須科目とされている。こうしたことから、スポーツについて学習することは非常に重要かつ必要なことである。</p> <p>本講義では、スポーツとは一体何なのか、スポーツ関連政策、スポーツの効果、スポーツと産業といった内容に触れながら、現代社会において運動・スポーツ、健康はいかなる意味・意義があるのか、運動・スポーツ、健康と経済活動との関わり等について社会科学の視点より考察・議論していく。主な内容は以下のとおりである。</p>
	各回内容
	1 スポーツとは：スポーツの歴史、スポーツ文化等
	2 スポーツ推進政策：スポーツ基本法、スポーツ基本計画、なぜスポーツを振興するのか等
	3 スポーツの効果：スポーツイベント、プロスポーツ、地域スポーツのインパクト等
	4 スポーツ・ビジネス：スポーツとビジネス、スポーツとメディア等
	5 スポーツと組織：総合型地域スポーツクラブ等
	6 スポーツ産業：スポーツと産業、健康フィットネス産業、スポーツ支援産業等
	7 新たなスポーツ：スポーツボランティア、スペクテイタースポーツ等
	8 スポーツと消費活動

評 価 方 法：授業時間に実施する小レポート等 35%、平常点（講義に対する姿勢、出席、発言等）15%、最終レポート 50%

教 科 書：特に指定しない。

参 考 図 書：諏訪伸夫他編「スポーツ政策の現代的課題」日本評論社  
池田勝編著「生涯スポーツの社会経済学」杏林書院  
山口泰雄「健康・スポーツへの招待」大修館書店  
原田宗彦他著「スポーツマーケティング」大修館書店  
Sandra Spickard Prettyman & Brian Lampman "Learning Culture through Sports"  
Michael Leeds & Peter von Allmen "The Economics of Sports"

など、適宜指示する。

履 修 に あ た っ て：講義には積極的に出席・参加すること。

# 流通システム論 *Theory of Distribution Systems*

4 単位

大 学 名	兵庫県立大学	担 当 教 員 氏 名	池田 敦 教授
開 講 期 間	後期 (10/3 ~ 12/23・1/5 ~ 2/8)	開 講 曜 日・時 間	火曜日 10:40 ~ 12:10 金曜日 9:00 ~ 10:30
対 象 学 年	2 年次以上	募 集 人 員	20 名程度

科 目 内 容	流通システムの編成様式とその動態を理解するために必要な基本概念と理論的枠組みを習得し、流通システムの進化の方向性を展望できる視点と基礎知識を獲得することを目標とする。	
	各回内容	
	1	ガイダンス
	2	日本の小売商業構造
	3	日本の卸売商業構造
	4	市場経済における流通システムの役割
	5	商業の存立根拠
	6	商業の多段階構成と商品の流通チャネル
	7	流通チャネルにおける企業間関係
	8	大規模製造企業による流通チャネルの組織化
	9	大規模小売企業の成長と製販連携の進展
	10	延期型サプライチェーンの形成
	11	日本の流通取引制度とその変容 (1)
	12	日本の流通取引制度とその変容 (2)
	13	流通取引に関わる独占禁止政策 (1)
	14	流通取引に関わる独占禁止政策 (2)
	15	小売業態の発展史 (1)
	16	小売業態の発展史 (2)
	17	小売商業集積の盛衰 (1)
	18	小売商業集積の盛衰 (2)
	19	日本の小売商業政策 (1)
	20	日本の小売商業政策 (2)
	21	まちづくり政策の展開
	22	小売商業の構造変化と卸売商業の再編
	23	情報通信技術の発展と流通システムの進化 (1)
	24	情報通信技術の発展と流通システムの進化 (2)
	25	インフォメディアリとインターネット販売の進展 (1)
	26	インフォメディアリとインターネット販売の進展 (2)
	27	小売商業の国際化 (1)
	28	小売商業の国際化 (2)
	29	流通システムの進化の方向性
30	総括と補足	
31	期末試験	

評 価 方 法：中間レポート (20%) と期末試験 (80%) によって評価する。

教 科 書：使用しない。講義用レジュメを配布する。

参 考 図 書：(1) 田村正紀『流通原理』千倉書房、2001 年。  
 (2) 石原武政・矢作敏行編『日本の流通 100 年』有斐閣、2004 年。  
 (3) 渡辺達朗・原頼利・遠藤明子・田村晃二『流通論をつかむ』有斐閣、2008 年。

履 修 に あ た っ て：参考図書の自習から得た知見に基づく質問を歓迎する。

# エコロジー経済学 *Ecological Economics*

4 単位

大 学 名	兵庫県立大学	担 当 教 員 氏 名	三俣学教授
開 講 期 間	後期 (10/3 ~ 12/23・1/5 ~ 2/8)	開 講 曜 日・時 間	水曜日 2 限・金曜日 3 限
対 象 学 年	2 年次以上	募 集 人 員	特になし

科 目 内 容	生態系における物質循環の仕組みを学ぶとともに、それを基盤として存立する人間の経済社会がいかなる制度・社会的条件のもとで持続可能となるのかについて、具体的な事例に基づき理解を深めることを目的とする。		
	各回内容		
	1	ガイダンス (私の研究紹介)	
	2	エコロジー経済学の射程	
	3	標準的な経済学に基づく環境問題の解法	
	4	コースの定理とピグー税	
	5	資源環境問題に示唆を与えた経済学者	
	6	経済活動と公害 環境問題のポリティクス	
	7	物質循環論 (1) めぐる命の輪	
	8	物質循環論 (2) サケの果たす栄養循環	
	9	物質循環論 (3) 海・陸・大気の循環	
	10	物質循環論 (4) 熊沢蕃山・鶴の山モデル	
	11	エントロピー論 (1)	
	12	エントロピー論 (2)	
	13	公共事業としての河川管理に見る物質循環の断絶	
	14	ケーススタディ 荒瀬ダム撤去に見る循環の回復	
	15	政府の役割とその機能不全	
	16	コモンズ論の理論 国内での議論 (1)	
	17	コモンズ論の理論 国内での議論 (2)	
	18	社会的共通資本の理論	
	19	コモンズ論の理論 海外での議論 (1)	
	20	コモンズ論の理論 海外での議論 (2)	
	21	日本の森林事情	
	22	ケーススタディ (1) 「日本の入会」の歴史的変遷と林政	
	23	ケーススタディ (2) 森林コモンズ	
	24	ケーススタディ (3) 温泉コモンズ	
	25	環境ガバナンス論	
	26	ケーススタディ (1) 英国の開放型コモンズ	
	27	ケーススタディ (2) 英国の開放型コモンズ	
	28	ケーススタディ (3) 自然アクセス権・北欧の万人権	
	29	ケーススタディ (4) 自然アクセス権・北欧の万人権	
30	まとめー環境資源の持続的利用と管理のための条件		

評 価 方 法：原則的に試験のみ。講義中に視聴するビデオの感想や参加型講義（可能な場合のみ）を行うが、これらへの参加・貢献は加点対象とする。

教 科 書：指定しない。

参 考 図 書：三俣学編 (2014) 『エコロジーとコモンズ』晃洋書房

履 修 に あ た っ て：特に初回は授業概要を説明するので必ず出席すること。

基礎経済学を履修していることが望ましい。

講義中は私語を慎み他の受講生の迷惑にならないようにすること。

# NPO 会計論 *Accounting for NPOs*

4 単位

大 学 名	兵庫県立大学	担 当 教 員 氏 名	兵頭 和花子 准教授
開 講 期 間	後期 (10/3 ~ 12/23・1/5 ~ 2/8)	開 講 曜 日・時 間	月曜日 2 限・木曜日 1 限
対 象 学 年	2 年次以上	募 集 人 員	50 名程度

科 目 内 容	非営利組織とはどのような組織か、非営利組織の社会的機能、意義や特徴を理解またその会計はについて学ぶ。また、非営利組織の会計制度を理解し、その特徴を把握するとともに、問題点、今後の課題について考察する。		
	各回内容		
	1	非営利組織体の基礎的概念の把握	
	2	非営利組織体の定義と範囲	
	3	非営利組織体の存在意義	
	4	非営利組織体における社会的役割	
	5	非営利組織体と他の組織体との関わり	
	6	非営利組織体会計の基礎理論	
	7	会計情報の有用性とアカウンタビリティ概念	
	8	会計情報の利用者および報告目的	
	9	非営利組織体の会計制度の比較	
	10	営利組織体会計 (1)	
	11	営利組織体会計 (2)	
	12	公益法人会計 (1)	
	13	公益法人会計 (2)	
	14	医療法人会計 (1)	
	15	医療法人会計 (2)	
	16	医療法人会計 (3)	
	17	社会福祉法人 (1)	
	18	社会福祉法人 (2)	
	19	学校法人会計 (1)	
	20	学校法人会計 (2)	
	21	特定非営利活動法人 (NPO 法人) 会計 (1)	
	22	特定非営利活動法人 (NPO 法人) 会計 (2)	
	23	海外における非営利組織体会計の特徴 (1)	
	24	海外における非営利組織体会計の特徴 (2)	
	25	海外における非営利組織体会計の特徴 (3)	
	26	非営利組織の業績評価 (1)	
	27	非営利組織の業績評価 (2)	
	28	非営利組織の課題と展望 (1)	
29	まとめ		

評 価 方 法：定期試験 60%、小テストあるいはレポート 30%、出席 10% で評価する。

教 科 書：指定しない。適宜授業中にプリントを配布する。

参 考 図 書：大塚宗春・黒川行治『政府と非営利組織の会計 (体系現代会計学)』

履 修 に あ た っ て：第 1 回目に講義・評価の概略を説明するので出席されたい。

# 都市・地域計画 *City Region Planning*

2 単位

大 学 名	流通科学大学	担 当 教 員 氏 名	近藤 勝直 流通科学大学 名誉教授 西井 和夫 教授 酒井 彰 教授
開 講 期 間	前期 4/11 ~ 7/25	開 講 曜 日・ 時 間	月曜日 13:00 ~ 14:30
対 象 学 年	3 年次生以上	募 集 人 員	若干名

科 目 内 容	<p>都市が秩序ある公共空間として利用され、整備されるための一定のルール（規制）について法体系に則った制度、すなわち「都市計画法」の基本的考え方について解説する。しかし同時に、少子高齢下・人口減少・都心回帰といった状況下で、その都市計画法や制度（手法）の問題点やその改善方法についても論じる。最近のトピックスとしての『災害に強いまちづくり』については、神戸市役所からの招聘講師による講義を組込むことを予定している。また、便利で快適な公共交通機関の整備、等についても論じていきたい。</p>
	各回内容
	[1] 都市・地域計画 総論 近藤担当
	1 本講義で何を学ぶか
	2 都市・地域計画の課題と仕組み
	3 都市計画法：手法と制度
	4 都市計画法：手法と制度
	5 これからの都市計画
	[2] 都市・地域計画 各論（1）西井担当
	6 都市構造（交通と土地利用）
	7 都市施設（公共交通の役割）
	8 都市施設（公共交通の整備）
	9 コンパクトシティ
	10 [1] と [2] とのまとめ
	[3] 都市・地域計画 各論（2）酒井担当
11 都市・地域の環境	
12 都市施設（供給処理施設）	
13 都市施設と都市生活者	
14 ツーリズムと地域振興	
15 各論（2）の確認	

評 価 方 法：下記の点数配分で、3 教員それぞれで評価し、それら合算して評価する。  
平常点 30%、試験（各パートの最後の確認で実施およびレポートを含む）70%。

教 科 書：指定しない

参 考 図 書：加藤晃 他著『新・都市計画概論』（共立出版）

履 修 に あ た っ て：参考テキストや配布プリントに従っての連続的な積み上げ授業なので、欠席はできるだけ避けること。また、定期試験期間中の試験は実施しないので注意。

# リゾート論 *Resort Management Theory*

2 単位

大 学 名	流通科学大学	担 当 教 員 氏 名	小久保 恵三 教授
開 講 期 間	前期 (4/7 ~ 7/28)	開 講 曜 日 ・ 時 間	木曜日 9:00 ~ 10:30
対 象 学 年	2 年次以上	募 集 人 員	100 名程度

科 目 内 容	<p>リゾートには観光と似ているところもあれば、全く異なる点もあります。突き詰めればリゾートライフは「生活」に至ります。また、大部分のリゾートは「繰り返しの行動」です。従って、おみやげを買う、といった行動は本来、無くなります。観光が感動を伴う動的な概念であるのに対し、リゾートは意識するかどうかはともかく、心身の弛緩が目的です。従って静的な概念といえるでしょう。しかし、行動する人も開発しようとする人も、そのような厳密な区分を考えることはあまりありません。本論はその区分を極め、リゾートとはどのようなものか、わが国に定着させるために何が必要か、を学ぶものです。何故そのようなことを学ばなければならないか、その答えは「私たちの生活の質を高めるため」といえるでしょう。経済の建て直しが実現しても、国民の生活の質そのものが豊かにならなければ、意味はありません。あるいは本当の意味の経済再建は国民生活の質の向上なくしてはありえない、といっても良いでしょう。</p> <p>講義は世界や日本のリゾートのケースを分析し、可能な限り、ビジュアルな資料も活用して「体感」しながらの理解を目指します。学習すべきモデルの多くは外国にありますが、わが国固有の条件と照らし合わせながら、「わが国のリゾート」のあるべき論を探ります。なお、このリゾート論では基本的に海浜リゾートを対象に取り上げます。</p>		
	各回内容		
	1	リゾートの原論 定義、概念の解説	
	2	リゾートの歴史 1 温泉と湯治	
	3	リゾートの歴史 1 別荘整備の背景と目的	
	4	リゾートの歴史 2 経済社会の発展とリゾート開発	
	5	リゾート法のしくみと功罪 1 総合保養地域整備法成立の背景、法の意図したこと	
	6	リゾート法のしくみと功罪 2 施行以降の状況	
	7	リゾート・プロジェクトの検証 トナムとカピラ	
	8	リゾート地域の検証 沖縄県のリゾート構想とネクスト・ステージ	
	9	海外のビーチリゾート開発タイプ 開発スキームの研究	
	10	小規模リゾート / 無計画型と計画型 / 発展途上国 / プラケットとモルデイブ	
	11	中規模リゾート / 計画型 / 発展途上国 / ヌサドゥア	
	12	中規模リゾート / 無計画型と計画型 / 先進国 / ワイキキとカアナパリ	
	13	大規模リゾート / 無計画型と計画型 / 発展途上国 / アカブルコとカンクン	
	14	大規模リゾート / 無計画型と計画型 / 先進国 / コートダジュールとラングドックルシオン	
15	総括-リゾート事業の課題と展望		

評 価 方 法：① 中間小テスト ② 定期テスト の総合評価で行います。  
出席点はありませんが、出欠は毎回とります。

教 科 書：特に指定しません。プリントを適宜配布します。

参 考 図 書：参考文献としては、東洋経済新報社「観光読本」、古今書院「貧困克服のためのツーリズム」、碩学社「一からの観光」など。またタイムリーな話題に接するために、「トラベルジャーナル」、「観光」、「レジャー白書」などの雑誌類にも親しんでください。

履 修 に あ た っ て：最終的にはリゾートの存在が国土のありようや人間の存在に深く関与するものであることを理解していただきたい。

- ① 座席指定をします。出欠は座席への着席を確認しますので、勝手に席の移動をすると不利益を被ります。
- ② 私語、携帯いじり、途中退室、遅刻などで授業中に何度か注意を続けて受けた場合は、定期テストの点数が無効になります
- ③ 教室内での飲食、着帽、サングラス、携帯充電などは許可しません。注意されなくても記録され、減点の対象とします。
- ④ 意識して自らリゾートライフを経験してください。

# 地域交通政策 *Regional Transport Policy*

2 単位

大 学 名	流通科学大学	担 当 教 員 氏 名	森津 秀夫 教授 岸野 啓一 講師
開 講 期 間	前期 (4/11 ~ 7/25)	開 講 曜 日・時 間	月曜日 9:00 ~ 10:30
対 象 学 年	3 年次以上	募 集 人 員	10 名程度

科 目 内 容	現代社会では交通と無関係な社会経済活動も日常生活もあり得ない。地域における問題を解決し、良好な地域社会を形成するために交通は大きな役割を果たしている。そこで、この講義においては、地域の人々の生活に根ざした交通にかかわる計画と政策に関して学ぶものとする。		
	各回内容		
	1	「地域交通政策」の概要	
	2	交通問題と交通施設 1	
	3	交通問題と交通施設 2	
	4	地域の交通計画 1	
	5	地域の交通計画 2	
	6	道路の交通工学と計画・設計 1	
	7	道路の交通工学と計画・設計 2	
	8	道路の交通工学と計画・設計 3	
	9	総合交通計画の技法 1	
	10	総合交通計画の技法 2	
	11	総合交通計画の技法 3	
	12	総合交通計画の技法 4	
	13	地域公共交通の計画 1	
	14	地域公共交通の計画 2	
15	地域公共交通の計画 3		

評 価 方 法：授業参加度・小テスト及びレポートに 30 ~ 40%、定期試験に 60 ~ 70% を目安として点数配分し、評価する。

教 科 書：竹内伝史 他『地域交通の計画 - 政策と工学-』（鹿島出版会）

参 考 図 書：担当教員が適宜指示する。

履 修 に あ た っ て：講義は教科書を用いて行います。すべての受講生が教科書を持ち、予習をしていることを前提として講義を進めます。必ず教科書を購入し、予定箇所を十分に予習して講義に臨んでください。

# 電気化学 *Electrochemistry*

2 単位

大 学 名	神戸市立工業高等専門学校	担 当 教 員 氏 名	安田 佳祐 講師
開 講 期 間	前期	開 講 曜 日 ・ 時 間	未定
対 象 学 年	2 年次以上	募 集 人 員	20 名程度

科 目 内 容	電池や電気分解を中心に各種電気化学反応の特徴と電気化学の応用分野における役割を述べる。電気化学がエネルギー貯蔵、エネルギー変換、無機合成、冶金・製錬、表面処理、電子工学、環境化学などと密接な関連を持ち、それぞれの分野で重要な役割を果たしていることを講義する。また、その他電気化学に関連する新しい機能性材料及び先端技術についても述べる。		
	各回内容		
	1	電気化学の歴史と応用分野	
	2	電気化学系の姿	
	3	電解質溶液の電気伝導率とモル電気伝導率	
	4	イオン輸率と移動度	
	5	電池の起電力と電極電位	
	6	電極反応速度 (1)	
	7	電極反応速度 (2)	
	8	中間試験	
	9	電気化学計測	
	10	電池の歴史と一次電池	
	11	二次電池	
	12	燃料電池	
	13	光電気化学と太陽電池	
14	めっき・表面加工		
15	腐食・防食		

評 価 方 法：試験 80%、レポート 20% として評価する。試験成績は中間試験と定期試験の平均点とする。  
100 点満点で 60 点以上を合格とする。

教 科 書：「第 2 版 電気化学概論」：松田 好晴・岩倉 千秋 共著 (丸善)

参 考 図 書：「電気化学」：渡辺 正・金村 聖志・益田 秀樹・渡辺 正義 共著 (丸善)  
「基礎からわかる 電気化学」：泉 生一郎・石川 正司・片倉 勝己・青井 芳史・長尾 恭考 共著 (森北出版)

履 修 に あ た っ て：物理化学、分析化学、無機化学の基礎的知識を前提としている。

# レーザー工学 *Laser Engineering*

2 単位

大 学 名	神戸市立工業高等専門学校	担 当 教 員 氏 名	熊野 智之 准教授
開 講 期 間	前期	開 講 曜 日 ・ 時 間	未定
対 象 学 年	1 年次以上	募 集 人 員	10 名程度

科 目 内 容	光学の基礎から各方面でのレーザー応用までを講義と英語文献の読解を通して学習する。また、学生による発表形式も取り入れ、プレゼンテーション能力を養う。		
	各回内容		
	1	レーザー開発の歴史的背景	
	2	レーザー光の特徴	
	3	レーザー光の発生原理 (1)	
	4	レーザー光の発生原理 (2)	
	5	レーザー光の発生原理 (3)	
	6	レーザー光の発生原理 (4)	
	7	レーザー概論 (英語文献)(1)	
	8	レーザー概論 (英語文献)(2)	
	9	レーザーの種類	
	10	レーザー装置 (発表)(1)	
	11	レーザー装置 (発表)(2)	
	12	レーザー光の制御	
	13	レーザー応用 (1)	
14	レーザー応用 (2)		
15	レーザー応用 (3)		

評 価 方 法： 期末試験 80%、レポート 10%、プレゼンテーション 5%、英語輪講 5% として評価する。  
100 点満点で 60 点以上を合格とする。

教 科 書： 谷腰 欣司『レーザー技術 入門講座』（電波新聞社）

参 考 図 書： 藤本 昌『基礎 光エレクトロニクス』（森北出版）  
レーザー技術総合研究所『レーザーと現代社会』（コロナ社）

履 修 に あ た っ て： 特になし。

# 都市防災学

Advanced Disaster Reduction Engineering

2 単位

大 学 名	神戸市立工業高等専門学校	担 当 教 員 氏 名	鳥居 宣之 教授 宇野 宏司 准教授
開 講 期 間	前期 (4/11 ~ 8/4)	開 講 曜 日・時 間	未定
対 象 学 年	指定しない	募 集 人 員	20 名程度

科 目 内 容	我が国は様々な自然的・社会的条件から災害が発生しやすい環境下に置かれている。特に、人口・資産が集積した都市においてひとたび大規模な災害が発生した場合には、人的にも物的にも甚大な被害が発生することが予測される。本講義では、都市を災害から守るための取り組み方とその変遷について学習する。	
	各回内容	
	1	近年の我が国における自然災害
	2	我が国における都市防災対策とその変遷
	3	災害気象学 (1)
	4	災害気象学 (2)
	5	神戸市域で発生した過去の災害 (1)
	6	神戸市域で発生した過去の災害 (2)
	7	神戸市域で今後起こりうる災害
	8	中間試験
	9	災害と危機管理
	10	企業防災・地域防災
	11	災害情報 (1)
	12	災害情報 (2)
	13	災害情報 (3)
14	災害情報 (4)	
15	演習課題の報告会	

評 価 方 法：成績は、試験 70%、レポート 25%、プレゼンテーション 5%、として評価する。試験成績は 2 回の試験（中間試験・定期試験）の平均点とする。

教 科 書：講義時に適宜配布する講義資料。

参 考 図 書：「防災工学」：石井一郎編（森北出版）  
 「地震・高潮・山崩れー自然災害入門」：塩田修（新風舎）  
 「これからの防災・減災がわかる本」：河田恵昭（岩波ジュニア新書）  
 「暮らしと自然災害」：後藤 恵之輔ほか（電気書院）  
 「都市と防災」：目黒公郎，村尾修（放送大学教育振興会）

履 修 に あ た っ て：レポート課題は、提出期限を厳守すること（提出遅れは、原則、評価対象外）。出席回数 2/3 以上の者に対して成績を評価する。

# アルゴリズムとデータ構成 *Algorithms and Data Structures*

2 単位

大 学 名	神戸市立工業高等専門学校	担 当 教 員 氏 名	若林茂教授
開 講 期 間	後期	開 講 曜 日 ・ 時 間	未定
対 象 学 年	特に指定なし	募 集 人 員	10 名程度

科 目 内 容	<p>アルゴリズムに関する知識は問題ごとに個別的なものであり、何か統一的な原理があつてそれですべてが解決するというものではない。しかし、代表的な優れたアルゴリズムを理解することにより、アルゴリズム設計のかんどころというものが習得できるはずである。この科目では、特定の応用分野に限定されない一般的なアルゴリズムについて、それを実現するためのデータ構造とともに解説する。授業は輪講形式で行う。</p>		
	各回内容		
	1	アルゴリズムと計算量	
	2	探索（線形探索・2分探索）	
	3	探索（2分探索木）	
	4	探索（平衡木・B木）	
	5	探索（ハッシュ法）	
	6	整列（選択法・挿入法・シェルソート）	
	7	整列（クイックソート）	
	8	整列（ヒープソート）	
	9	整列（マージソート）	
	10	グラフ（グラフの表現と探索）	
	11	グラフ（各種連結性の判定）	
	12	グラフ（最短路の問題）	
	13	文字列のアルゴリズム	
14	まとめ		

評 価 方 法：成績は、試験70%、輪講資料と質疑応答30%として評価する。  
 なお、試験には課題レポートに関する設問を含む。

教 科 書：「アルゴリズムとデータ構成」石畑清著（岩波書店）

参 考 図 書：別に指示する

履 修 に あ た っ て：手続き型言語でのプログラミング経験のあること  
 配列、関数、ポインタ等の基礎は理解できていること

# 神戸学

Kobe Studies

2 単位

大 学 名	神戸市看護大学	担 当 教 員 氏 名	藤代節 教授
開 講 期 間	前期 (4/12～7/15)	開 講 曜 日・時 間	火曜日 13:10～14:40
対 象 学 年	特になし	募 集 人 員	(本学学生を入れて) 100 名程度

科 目 内 容	<p>「神戸学」を全国で活動が盛んな「地域学」の一環と捉え、「神戸」について、歴史、文化（文学、ことば、ファッション、建築、映画、食物、スポーツ、芸術）、国際交流、観光、自然等の各分野の第一人者を講師として迎え様々な観点から「神戸」を学びます。</p> <p>オリエンテーションの後、下記の講師の方々に講義をしていただきます。講義は概ね以下の順で行う予定です。詳しいスケジュールとレポート課題の説明は、初回の授業オリエンテーション時に行いますので必ず出席して下さい。</p>
	各回内容
	0 「(オリエンテーション)」藤代節 (神戸市看護大学教授)
	1 「神戸の地名と生活史」田辺真人 (園田学園女子大学名誉教授)
	2 「神戸・パン物語」楠本利夫 (芦屋大学元教授・国際関係学博士)
	3 「神戸の都市山・六甲山」服部保 (兵庫県立大学名誉教授)
	4 「有馬温泉を語る」金井 啓修 (御所坊社長)
	5 「中華街と中華料理」陳挺 (中華料理店「小小心縁」オーナーシェフ)
	6 「外国人と神戸っ子の歴史」川越栄子 (神戸女学院大学教授)
	7 「神戸居留地とスポーツの父 AC シム」高木應光 (NPO 神戸外国人居留地研究会事務局長)
	8 「神戸の看護教育の歴史」池田清子 (神戸市看護大学教授)
	9 「神戸の医療-臨床現場から」谷知子 (神戸市看護大学教授)
	10 「神戸のまちづくり」花田佳明 (神戸芸術工科大学環境・建築デザイン学科教授)
	11 「神戸のファッション」見寺貞子 (神戸芸術工科大学ファッションデザイン学科教授)
	12 「神戸の美の創造者たち」谷口義子 (神戸学院大学非常勤講師)
13 「神戸の映画と観光・集客産業」田中まこ (神戸フィルムオフィス代表)	
14 「神戸のことばと文学」藤代節	

評 価 方 法：提出物（神戸の1箇所に関するレポート、他、30%程度）と出席点（70%程度）による。

教 科 書：特になし。

参 考 図 書：『神戸地域学—神戸の魅力再発見』川越栄子編 大学教育出版

履 修 に あ た っ て：「神戸」について様々な角度から勉強してください。外部からもそれぞれの分野の第一人者の先生方をお招きしています。自分たちが学んでいる、住んでいる街についての理解を深めてください。また、この講座を受講し「神戸検定」にも挑戦してみてください。

# 哲学

Philosophy

2 単位

大 学 名	神戸市看護大学	担 当 教 員 氏 名	松葉祥一教授
開 講 期 間	前期 (4/13 ~ 7/27)	開 講 曜 日・時 間	水曜日 13:10 ~ 14:40
対 象 学 年	1 年次以上	募 集 人 員	50 名 (市看護大生 40 名 / 他大学 10 名)

科 目 内 容	この授業が目指すのは、哲学史の知識を得ることではなく、「哲学する」こと、つまりこれまで慣れ親しんできた「ものの見方」を根底的に疑ってみる態度の獲得である。そこで、とりわけ現代の哲学者の議論を追いながら、懐疑を実践してみたい。	
	各回内容	
	1	哲学とは何か
	2	哲学史概観 (1) ギリシア哲学
	3	哲学史概観 (2) デカルトを中心に
	4	哲学史概観 (3) ドイツ観念論を中心に
	5	現代哲学概観
	6	現象学 (1) 方法としての現象学 (フッサール)
	7	現象学 (2) 存在とは何か? (ハイデガー)
	8	現象学 (3) 私は自由か? (サルトル)
	9	現象学 (4) 身体は「もの」か? (メルロ＝ポンティ)
	10	構造主義 (1) 言語とは何か? (ソシュール・ヤコブソン)
	11	構造主義 (2) 婚姻と交換 (レヴィ＝ストロース)
	12	構造主義 (3) 文化相対主義
	13	ポスト構造主義 (1) バイオ・ポリティクス (フーコー)
	14	ポスト構造主義 (2) 来るべき民主主義 (デリダ)
15	まとめ	
16	試験もしくはレポート	

評 価 方 法 : 学期末試験もしくはレポート (70%)  
授業中に短いレポートを課します (30%)

教 科 書 : 特になし。

参 考 図 書 : 決まったテキストは使いません。参考文献として、入江幸男・入不二基義ほか著『哲学者たちは授業中』、ナカニシヤ出版、1997年。これ以外の参考文献は講義中に提示します。

履 修 に あ た っ て : 特になし。

# 言語学

Introduction to Linguistics

2 単位

大 学 名	神戸市看護大学	担 当 教 員 氏 名	藤代節教授
開 講 期 間	後期 (10/3 ~ 12/19・1/16 ~ 1/23)	開 講 曜 日・時 間	月曜日 16:30 ~ 18:00
対 象 学 年	指定なし	募 集 人 員	30 名程度

科 目 内 容	授業においてはまず人間言語全般の諸特徴について概説する。その後、一般言語学入門の講義を進める。各回の授業時間の一部を国内外で使用されている現代語の学習、即ち、極々初歩的な文法事項、音声、文字に親しむことに当て、人間言語の多様性についても考えたい。2016年度は、沖縄語(日本語琉球方言)、アイヌ語、ロシア語、エスペラントや日本語の諸方言(各地域方言)などにも触れたい。		
	各回内容		
	1	世界の言語と日本の言語(「大」言語・「小」言語・「極小」言語、他)	
	2	人間言語の諸特徴1(言語と言語学、他)	
	3	人間言語の諸特徴2(言語の恣意性、媒体切り替えの可能性、分離性・非連続性、他)	
	4	人間言語の諸特徴3(能記と所記、ラングとパロール、他)	
	5	音声学1(調音器官、国際音声字母、他)	
	6	音声学2(調音器官、国際音声字母、他)	
	7	音韻論1(音素)	
	8	音韻論2(音素)	
	9	形態論1(形態素)	
	10	形態論2(語構造、語形成)	
	11	統語論1(統語範疇:性、格、時制、法、態、他)	
	12	統語論2(統語現象:一致、格)	
	13	意味論(前提・含意、他)	
14	言語地理学・方言学(言語地理学、日本各地の方言を聴く)		
15	まとめ		

評 価 方 法：筆記試験(80%)と平常点(20%)による予定。

受講人数によっては評価方法を変更する可能性があります。その場合は授業中に知らせます。

教 科 書：特に指定しない。

参 考 図 書：授業中に提示します。

履 修 に あ た っ て：予備知識は必要ありませんが、なじみのない言語に取り組む意欲を持って受講されたい。

# 生活と環境 *Life and Environment Science*

1 単位

大 学 名	神戸市看護大学	担 当 教 員 氏 名	丹野 恵一 講師
開 講 期 間	後期 (10/28 ~ 12/23、1/9 ~ 1/27)	開 講 曜 日・時 間	金曜日 16:30 ~ 18:00
対 象 学 年	1 年次以上	募 集 人 員	10 名

科 目 内 容	本講義は、日常生活における水道水・食品・居住環境等の環境問題について、実験・演習・見学を通じて考えるプロセスを体得することを目的とします。		
	各回内容		
	1	はじめに ~水俣病の原因究明を題材として環境問題を考える~ (演習)	
	2		
	3	水道水中の残留塩素濃度の分析~自宅・看護大学内等にて水道水のサンプリング~ (実験)	
	4		
	5	食品添加物の分析~市販の加工食品からの発色剤・保存料(亜硝酸ナトリウム)の定性分析~ (実験)	
	6		
	7	日用品に含まれる環境化学物質の培養肝細胞への障害性 ~トリクロサン(抗菌剤)とパラジクロロベンゼン(防虫剤・芳香剤)に注目して~ (実験)	
	8	まとめ ~「生活と環境」で学んだことを自分自身でどう考えるか~	
9	補講(見学) 候補①: 阪神水道企業団・尼崎浄水場 ~原水から飲料水までの過程~ * 参加希望者9名以上のとき実施 @ 阪急「塚口駅」下車徒歩15分		
	候補②: こうべ環境未来館~神戸市資源リサイクルセンター~ * 神戸電鉄「木津駅」下車徒歩5分		

評 価 方 法 : 各回の実験・演習への取り組み及び出席点 (70%) と最終提出レポート (30%) 換算し、総合的に評価致します。

教 科 書 : 教科書は指定せず、各テーマごとに講義資料を配付します。

参 考 図 書 : 1) 日本化学会編集『暮らしと環境科学』(東京化学同人) (2003)  
神戸市看護大学図書館分類番号: 看護大 515.

2) 澤村良二他編集『環境衛生学(改訂第2版)』(南江堂) (1992)  
神戸市看護大学図書館分類番号: 看護大 WA670

履 修 に あ た っ て : 1) 本講義は、受講生の空き時間と調整させていただいた後、一日に2時限分の実験を行うこともあります。

2) 一つのテーマについて自分の手を動かし自分の目で確かめることは大切なことです。身近な生活の環境問題を理解すること、そして環境問題の解決に向けて自分の考え方を身につけるプロセスを体得します。環境問題に興味がある学生さんの履修を歓迎致します。

## UNITY (大学共同研究施設)のご案内

加盟大学の学生は、和室を除き無料で利用できます。授業等が無く空いている時間帯に貸出していますので、ゼミ、勉強会やサークル活動（概ね5人以上）にぜひご利用ください。ロビーでは、パソコンの利用や自習ができます。

また、土曜日に開催される公開講座につきましても、無料で受講できますので、是非参加してみてください。

### 開館時間

月～木 9:00～20:00（単位互換講座特別科目開講期間中）

9:00～17:30（単位互換講座特別科目開講期間外）

金・土 9:00～17:30

### 休館日

日曜・祝日、年末年始（12月28日～1月4日）

館内整備等のために臨時に休館することがあります。

### 利用申込方法

来館または電話でお申込みください。（申請書の提出が必要となります。）

他の利用者に迷惑を及ぼすものや大学の講義室に適さないものは受付しません。

利用申込みを取消す場合は、必ず事前に連絡してください

### 利用上の注意事項

利用時間は準備及び後片付けの時間を含んでいます。

利用後は必ず原状復帰をし、火元の安全確認をしてください。

専用の駐車場はありません。

